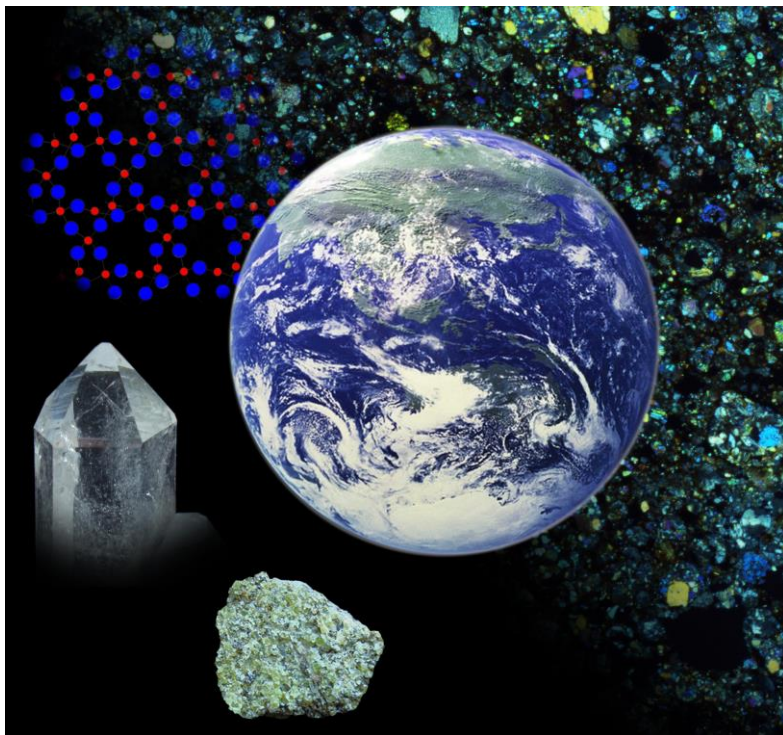


倉敷市立自然史博物館報

29

(令和元年度)



倉敷市立自然史博物館

令和2年7月1日発行

目次

I. 資料収集保管事業

1 寄贈標本	1	4 自然の標本なんでも相談会	13
2 館員による採集	3	5 動物研究会	13
3 購入	3	6 地学教室	14
4 寄託	3	7 植物教室	14
5 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳	3	8 むしむし探検隊	14
6 二次資料	4	9 自然素材を使った手作り教室	14
7 登録済み資料点数	5	10 折り紙教室	14
8 標本整理ボランティアの活動	5	11 スライド映写会	14
9 博物館のお宝探検	5	12 昆虫標本作り体験教室	14
10 館外者による収蔵資料の利用	5	13 第19回 11月3日は自然史博物館まつり	14
11 収蔵資料を活用した業績	5	14 ないと・みゅーじあむ	14
12 収蔵設備の充実	6	15 出版物	14
13 収蔵庫の燻蒸	6	16 レファレンス	14

II. 調査研究事業

1 機関研究	6	19 講師派遣	15
2 分野別研究テーマ	7	20 マスコミ報道	16
3 研究業績などの公表	7	21 学校用標本の貸出	17
4 査読	10	22 倉敷市立自然史博物館友の会の活動	17

III. 展示事業

1 常設展	10
2 特別展	11
3 特別陳列	11
4 ミニ水族館の展示	11
5 常設展示の更改	12
6 生きた動植物の展示	12
7 植物クラフトの展示	12
8 恐竜と季節の植物のぬり絵	12
9 自然情報掲示板の設置	12
10 倉敷まちかど博物館	12
11 ボランティアの活動	12
12 他館展示協力	12

IV. 教育普及事業

1 自然観察会	13
2 博物館講座	13
3 特別展関連講座	13

V. 庶務

1 沿革	19
2 各室現有面積	19
3 組織	19
4 委員、役員委嘱	20
5 会議等派遣	21
6 広報活動	22
7 職員の研修参加	22
8 視察来館	22
9 無料開放	22
10 予算・決算	22
11 年間利用者数	23

倉敷市立自然史博物館中期計画の点検

倉敷市立自然史博物館の運営方針

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

倉敷市立自然史博物館条例

倉敷市立自然史博物館条例施行規則

利用案内

I. 資料収集保管事業

1 寄贈標本 (敬称略)			
(1) 地学分野 (11件計約99点)			
5月3日	リュウソウ	1点	益田芳樹
5月9日	岩石標本	約80点	島田和昌
5月9日	石英 (紫水晶)	1点	岡本義子
5月24日	プーランジェ鉱	1点	島田和昌
7月24日	鉱物・岩石	4点	岡 晃
10月12日	石灰岩	1点	岡本泰典
10月17日	辰砂	3点	中西信一
10月30日	大型二枚貝化石	1点	藤井洋治
12月5日	貝, フナクイムシ化石	5点	田邊一恵
2月27日	石膏	1点	谷川明義
3月20日	クロム鉄鉱	1点	坪内二三夫
7月30日	国内産植物標本	141点	小島裕子
8月1日	岡山県産植物標本	15点	小橋理絵子
8月7日	国内産植物標本	397点	小島裕子
8月8日	岡山県産植物標本	4点	稲神邦代
8月10日	国内産植物標本	66点	溝手啓子
8月11日	岡山県産植物標本	2点	山田 勝
8月15日	国内産植物標本	199点	小島裕子
8月16日	国内産植物標本	11点	濱口友希
8月16日	岡山県産植物標本	8点	稲澤睦美
8月16日	岡山県産植物標本	7点	萩原舞花
8月18日	岡山県産植物標本	19点	片岡博行
8月18日	岡山県産植物標本	6点	小橋理絵子
8月18日	国内産植物標本	2点	溝手啓子
8月18日	古屋野寛氏採集コケ植物標本	約150点	
(2) 植物分野 (109件計約10,200点)			
4月1日	マダイオウ	2点	藤井伸二
4月11日	岡山県産植物標本	7点	稲神邦代
4月13日	岡山県産植物標本	51点	岡田智子
5月10日	岡山県産植物標本	65点	岡田智子
5月10日	国内産植物標本	14点	稲神邦代
5月10日	ギンリョウソウ	3点	安原清隆
5月11日	岡山県産植物標本	2点	木下延子
5月11日	岡山県産植物標本	39点	小橋理絵子
5月11日	岡山県産植物標本	1点	稲神邦代
5月11日	国内産植物標本	220点	小島裕子
5月24日	国内産植物標本	24点	溝手啓子
5月24日	国内産植物標本	149点	小島裕子
5月24日	岡山県産植物標本	24点	榎本 敬
5月25日	国内産植物標本	42点	溝手啓子
5月31日	国内産植物標本	158点	小島裕子
6月1日	コキンバイザサ	1点	高原千春
6月4日	岡山県産アザミ植物標本	1点	川上節子
6月5日	国内産植物標本	179点	小島裕子
6月6日	岡山県産植物標本	41点	裾分由美子
6月6日	岡山県産植物標本	28点	小橋理絵子
6月11日	国内産植物標本	21点	岡本泰典
6月11日	国内産植物標本	168点	小島裕子
6月12日	岡山県産植物標本	2点	小橋理絵子
6月20日	国内産植物標本	190点	小島裕子
6月29日	岡山県産植物標本	8点	稲神邦代
7月3日	国内産植物標本	180点	小島裕子
7月3日	国内産植物標本	31点	松本哲也
7月5日	岡山県産植物標本	30点	小橋理絵子
7月7日	国内産植物標本	約3,000点	小坂和之
7月7日	岡山県産植物標本	2点	稲神邦代
7月11日	岡山県産植物標本	16点	裾分由美子
7月11日	国内産植物標本	160点	溝手啓子
7月17日	国内産植物標本	184点	小島裕子
7月24日	国内産植物標本	224点	小島裕子
8月21日	国内産植物標本	200点	小島裕子
8月25日	国内産植物標本	34点	辻 弘美
8月27日	国内産植物標本	約200点	小島裕子
8月28日	岡山県産植物標本	2点	小橋理絵子
9月3日	岡山県産植物標本	15点	稲神邦代
9月3日	国内産植物標本	約400点	小島裕子
9月6日	国内産植物標本	約150点	小島裕子
9月8日	岡山県産植物標本	32点	小橋理絵子
9月10日	岡山県産植物標本	26点	裾分由美子
9月11日	国内産植物標本	約200点	小島裕子
9月12日	岡山県産植物標本	15点	稲神邦代
9月12日	岡山県産植物標本	27点	木下延子
9月12日	国内産植物標本	25点	溝手啓子
9月12日	岡山県産植物標本	10点	小橋理絵子
9月14日	国内産植物標本	約200点	小島裕子
9月14日	国内産植物標本	164点	木下延子
9月25日	国内産植物標本	約200点	小島裕子
9月25日	ネナシカズラ	1点	稲神邦代
9月25日	岡山県産水草標本	33点	藪内喜人
9月27日	マルバツユクサ	1点	中原一儿
10月3日	岡山県産植物標本	27点	小橋理絵子
10月3日	岡山県産植物標本	2点	稲神邦代
10月3日	ノガリヤス	1点	佐々木良一
10月3日	国内産植物標本	約300点	小島裕子
10月3日	ヒレタゴボウ	1点	辻 弘美
10月4日	岡山県産植物標本	8点	小橋理絵子
10月8日	国内産植物標本	約200点	小島裕子
10月10日	岡山県産植物標本	12点	裾分由美子
10月10日	国内産植物標本	50点	溝手啓子
10月10日	タコノアシ	1点	古市景一
10月14日	国内産植物標本	23点	岡本泰典
10月16日	国内産植物標本	約200点	小島裕子
10月17日	岡山県産植物標本	8点	小橋理絵子

10月23日	国内産植物標本	約200点	小島裕子	8月29日	岡山県産昆虫類	4点	小橋理絵子
10月29日	国内産植物標本	100点	溝手啓子	9月3日	岡山県産昆虫類	4点	水井颯麻
10月31日	国内産植物標本	29点	木下延子	9月5日	岡山県産昆虫類	1点	
11月1日	岡山県産植物標本	37点	小橋理絵子		岡山県環境文化部自然環境課		
11月1日	イバラモ	1点	山野ひとみ	9月5日	岡山県産昆虫類	1点	河内愛子
11月2日	岡山県産植物標本	34点	稲神邦代	9月5日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代
11月6日	ヤマトミクリ	1点	守安 敦	9月7日	岡山県産昆虫類	1点	大橋麻衣
11月6日	オヒルギ	1点	岡本泰典	9月11日	岡山県産昆虫類	1点	小田博則
11月6日	イトモ	1点	小橋理絵子	9月20日	岡山県産昆虫類	9点	水井颯麻
11月7日	国内産植物標本	61点	溝手啓子	10月3日	岡山県産昆虫類	1点	片山禄弘
11月12日	広島県産植物標本	5点	日朝直樹	10月12日	岡山県産昆虫類	1点	山田洋平
11月17日	岡山県産植物標本	24点	裾分由美子	11月12日	岡山県産昆虫類	2点	小島裕子
11月29日	岡山県産植物標本	23点	小橋理絵子	11月14日	日本産昆虫類	1点	齋藤壮志
11月29日	岡山県産植物標本	10点	稲神邦代	11月14日	岡山県産昆虫類	1点	難波裕之
12月12日	国内産植物標本	62点	溝手啓子	11月14日	岡山県産昆虫類	1点	橋本昌明
12月13日	教材用植物標本一式	1点		11月14日	日本産昆虫類	1点	西屋 馨
			倉敷市環境政策課	11月14日	世界の昆虫	約1,320点	山本峯子
1月9日	岡山県産植物標本	5点	稲神邦代	11月28日	岡山県産昆虫類	5点	能勢正文
1月9日	岡山県産植物標本	4点	小橋理絵子	11月28日	日本産昆虫類	1点	石田楓舜
1月9日	岡山県産植物標本	8点	木下延子	12月6日	岡山県産昆虫類	5点	那須 敏
2月2日	岡山県産水草標本	275点	岡田智子	12月12日	世界の昆虫	1点	森田由巳
2月5日	国内産植物標本	146点		12月15日	日本産昆虫類	約3,400点	松本堅一
			大本花明山植物園	12月17日	岡山県産昆虫類	1点	山崎正博
2月6日	岡山県産植物標本	18点	裾分由美子	12月19日	世界の昆虫	2,095点	朝日恭子
2月11日	国内産植物標本	22点	溝手啓子	12月25日	岡山県産昆虫類	4点	安田剛長
2月19日	チシマザサ	1点	片山 久	12月26日	岡山県産昆虫類	7点	児島孝宣
2月22日	岡山県産植物標本	42点	岡田智子	12月26日	岡山県産昆虫類	8点	小橋理絵子
3月5日	岡山県産植物標本	3点	裾分由美子	1月26日	日本産昆虫類	6点	千田喜博
3月13日	国内産植物標本	11点	小島裕子	2月9日	岡山県産昆虫類	74点	吉澤聡史
3月29日	岡山県産植物標本	14点	小橋理絵子	2月12日	岡山県産昆虫類	2点	土松竜一
				2月26日	岡山県産昆虫類	2点	岩藤真美
(3) 昆虫分野 (54件計約48,041点)				2月27日	日本産昆虫類	1点	徳田展成
4月30日	岡山県産昆虫類	12点	山川 遼	3月5日	世界の昆虫	約16,000点	澤田博仁
5月5日	岡山県産昆虫類	2点	山川 遼	3月12日	岡山県産昆虫類	1点	佐藤大地
5月10日	世界の昆虫	6,831点	渡辺和夫	3月24日	岡山県産昆虫類	1点	片山禄弘
5月14日	岡山県産昆虫類	39点	年岡康雄				
5月18日	岡山県産昆虫類	11点	奥島雄一	(4) 動物分野 (33件計55点)			
5月30日	岡山県産昆虫類	1点	林 重子	4月10日	アオゲラ	1点	三宅康裕
6月11日	日本産昆虫類	1点	谷口晃一	5月9日	ハシボソガラス	1点	山崎法子
6月11日	岡山県産昆虫類	1点	神谷新治	5月9日	スズメ	1点	山崎法子
6月14日	岡山県産昆虫類	1点	竹内	6月9日	アナグマ・ハクビシン	2点	原田八郎
6月14日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	6月23日	ヒヨドリ	1点	野津祐子
6月25日	世界の昆虫	約18,000点	三木はるか	6月23日	キツネ	1点	江川達也
6月25日	岡山県産昆虫類	1点	浜 耐史	6月23日	スズメ	1点	北條朋実
6月26日	岡山県産昆虫類	1点	溝手陽翔	6月23日	ノウサギ	1点	頃末敏秀
6月27日	日本産昆虫類	2点	坪田益己	6月23日	ソウシチョウ	1点	裾分由美子
6月29日	日本産昆虫類	1点	松本惟吹	6月23日	シジュウカラ	1点	小橋典明
7月12日	日本産昆虫類	3点	熊野貴浩	6月23日	ドバト	1点	安達由莉
8月6日	岡山県産昆虫類	1点	小西悠右	6月23日	ドバト	1点	小山一樹
8月8日	世界のチョウ	163点	富山明子	6月23日	ドバト	1点	内田理絵
8月10日	岡山県産昆虫類	4点	水井颯麻	7月5日	カラス類	1点	野津祐子
8月24日	岡山県産昆虫類	1点	東 晴哉	7月19日	オオヨシキリ巢	2点	

		木村英一・山崎法子	12月19日	玉野市築港	2点	
7月29日	ブッポウソウ	1点	黒田聖子			
7月31日	ヤガタアリグモ	1点	三宅敏夫	(4) 動物分野 (無記名は江田伸司採集)	計1点	
9月3日	アオウミガメ	1点	尾上明男	11月21日	シロハラ	1点
10月14日	アオウミガメ剥製	1点	宮内八重			
10月9日	カワラヒワ	1点	越山洋三	3 購入		
10月18日	鳥類剥製	8点	三宅 学	5月10日	トルトベイタイト	1点
10月19日	鳥類剥製	2点	益田芳樹	5月10日	ストロンチアナイト	1点
11月6日	コゲラ	1点	小橋典明	4 寄託		
11月6日	トラツグミ	1点	小橋理絵子	3月27日	畠田和一貝類コレクション (継続)	
11月26日	ブッポウソウ	2点	黒田聖子		約24,000点 鏡野町町長 山崎親男	
12月8日	シロハラ・ホオジロ	2点	亀山尚子			
12月14日	ツミ	1点	國忠高広			
12月17日	シロハラ	1点	江口厚子			
12月24日	コガモ	1点	上田伸一			
12月25日	動物剥製・骨格	8点				

倉敷市少年自然の家

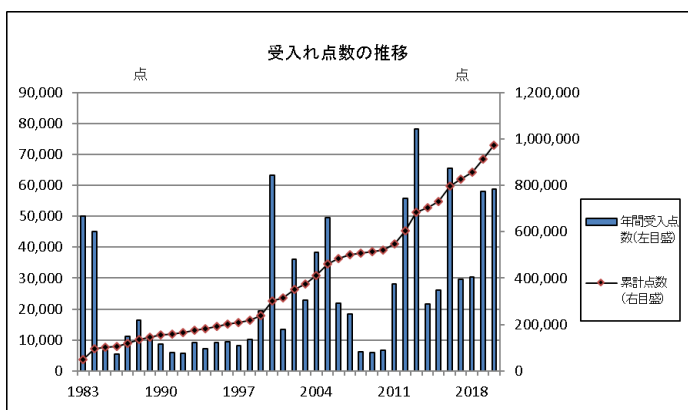
2月11日	フクロウ	1点	田賀辰也
2月16日	アマミヤマシギほか	4点	
			環境省奄美野生生物保護センター
3月20日	ジネズミ	1点	松本庸夫

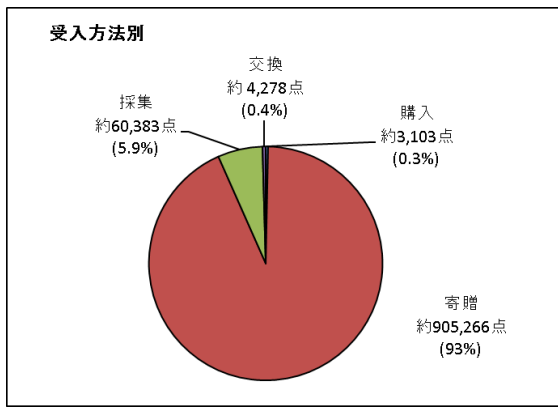
2 館員による採集

(1) 地学分野 (無記名は武智泰史採集)	計1点
11月10日 津山市阿波	1点
(2) 植物分野 (無記名は狩山俊悟採集)	計5点
5月19日 総社市延原	1点
5月21日 真庭市余野下	2点
11月10日 津山市阿波	1点
12月8日 瀬戸内市長船町八日市	1点
(3) 昆虫分野 (無記名は奥島雄一採集)	計約462点
4月18日 赤磐市惣分	約110点
	(神田佐奈恵)
4月23日 高梁市成羽町下原	3点
4月28日 倉敷市玉島黒崎	33点
5月21日 真庭市余野下	28点
5月26日 真庭市余野下	16点
6月2日 笠岡市真鍋島	43点
6月7日 美作市巨勢	12点
6月16日 美作市巨勢大山	28点
7月2日 倉敷市児島小川町	29点
7月14日 倉敷市児島小川町	5点
7月23日 倉敷市林	6点
8月7日 倉敷市児島味野	1点
8月9日 倉敷市玉島乙島	1点
8月8日 総社市黒尾	40点
10月23日 津山市阿波	34点
11月10日 津山市阿波布滝付近	17点
11月27日 瀬戸内市長船町八日市～長船	29点
12月8日 瀬戸内市長船町八日市～長船	25点

5 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳

年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	2,334	972	7,287	約 182,194
1994	145	3,367	4,891	703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	1,062	16	約 13,516	約 315,249
2001	27	約 12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
2018	約 1,054	約 9,002	約 45,659	約 2,187	約 57,902	約 914,163
2019	約 102	約 10,206	約 48,503	約 56	約 58,867	約 973,030
合計	約 9,520	約 304,182	約 582,021	約 77,307	約 973,030	





6 二次資料

(1) 寄贈者，交換先（敬称略，入力完了分のみ）

[個人] 赤澤潔，上野等，江田伸司，奥島雄一，狩山俊悟，黒田泰子，清水健一，難波通孝，益田芳樹，三河内房子，山口弘貴。

[機関・団体] ひがし大雪自然館，浦幌町立博物館，釧路市立博物館，根室市歴史と自然の資料館，三笠市立博物館，斜里町立知床博物館，小樽市総合博物館，帯広百年記念館，苫小牧市美術博物館，美幌博物館，駒生川に魚道をつくる会・美幌博物館，北海道大学農学部，北海道博物館，北見市教育委員会，北方山草会，利尻町立博物館，青森県立郷土館，岩手県立博物館，宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団，秋田県立博物館，秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館，米沢市上杉博物館，ミュージアムパーク茨城県自然博物館，森林総合研究所，栃木県立博物館，那須塩原市那須野が原博物館，那須平成の森フィールドセンター，ぐんま昆虫の森，下仁田町自然史館，群馬県立自然史博物館，群馬県立博物館友の会，埼玉県立自然の博物館，埼玉県立川の博物館，川口市立科学館，大船渡市立博物館，山階鳥類研究所，千葉県立中央博物館，千葉県立中央博物館分館海の博物館，千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム，環境再生保全機構，国立科学博物館，国立科学博物館附属自然教育園，国立極地研究所，世界自然保護基金日本委員会，全国科学博物館協議会，全国科学博物館振興財団，地学団体研究会，東レ科学振興会，東京農業大学学術情報課程，日本チョウ類保全協会，日本鯨類研究所，日本鳥学会，日本昆虫協会，日本博物館協会，日本文化財保護協会，日本野鳥の会，府中市郷土の森博物館，（有）むし社，目黒寄生虫館，横須賀市自然・人文博物館，観音崎自然博物館，神奈川県立生命の星・地球博物館，川崎市青少年科学館，日本大学生物資源科学部博物館，平塚市博物館，環境省自然環境局生物多様性センター，飯田市美術博物館，大町山岳博物館，野尻湖ナウマンゾウ博物館，長岡市立科学博物館，富山県中央植物園，富山市科学博物館，のと海洋ふれあいセンター，石川県ふれあい昆虫館，石川県白山自然保護センター，福井県自然保護センター，福井県立恐竜博物館，福井市自然史博物館，可児市教育委員会，岐阜県博物館，自然共生研究センター，瑞浪市化石博物館，NPO静岡県立自然史博物館ネットワ

ーク，ふじのくに地球環境史ミュージアム，沼津市歴史民俗資料館，東海大学海洋学部博物館編集委員会，熱川バナナ・ワニ園，なごや生物多様性保全活動協議会，新城市鳳来寺山自然科学博物館，豊橋市自然史博物館，名古屋市環境局なごや生物多様性センター，三重県総合博物館，みえむプロジェクト実行委員会，鳥羽水族館，藤原岳自然科学館，滋賀県立琵琶湖博物館，京都大学総合博物館，関西菌類談話会，日本地学研究会，関西自然保護機構，大阪市立自然史博物館，大阪府営箕面公園昆虫館，伊丹市昆虫館，伊丹市昆虫館友の会，JT生命誌研究館，神戸市立須磨海浜水族園，神戸女子大学，姫路科学館，兵庫県立人と自然の博物館，兵庫陸水生物研究会，近畿植物同好会，和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会，和歌山県立自然博物館，和歌山市立博物館，公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団，鳥取県立博物館，鳥取昆虫同好会，氷ノ山自然ふれあい館響の森，（財）三瓶フィールドミュージアム財団，ホシザキグリーン財団，ホシザキグリーン財団ホシザキ野生生物研究所，山陰むしの会，島根県立三瓶自然館，島根県立宍道湖自然館ゴビウス，阿智神社社務所，大國家，岡山コケの会，岡山の自然を守る会，岡山県環境保健センター，岡山県環境保全事業団，岡山県郷土文化財団，岡山県古代吉備文化財センター，岡山県自然保護センター，岡山県農林水産センター，岡山県博物館協議会，岡山県立記録資料館，岡山県立博物館，岡山県立美術館，岡山昆虫談話会，岡山市デジタルミュージアム，岡山市立オリエント美術館，岡山商科大学学芸員課程，岡山大学文学部，岡山淡水魚研究会，岡山理科大学自然科学研究所，岡山理科大学自然植物園，高梁川流域連盟，浅口市寄島町アッケシソウを守る会，倉敷昆虫館，倉敷昆虫同好会，倉敷市教育委員会，倉敷市市史編さん室，倉敷市立自然史博物館友の会，倉敷市立中央図書館，中庄の歴史を語り継ぐ会，総社市教育委員会文化課文化振興係，津山市教育委員会文化課，日本野鳥の会岡山支部，林原自然科学博物館，半田山植物園，中国電力(株)エネルギー総合研究所，庄原市立比和自然科学博物館，広島市植物公園，広島大学総合博物館，山口県立山口博物館，秋吉台科学博物館，豊田ホテルの里ミュージアム，萩博物館，徳島県立博物館，香川県立ミュージアム，香川大学教育学部生物学教室，愛媛県総合科学博物館，面河山岳博物館，日本昆虫分類学会，高知県越知町立横倉自然の森博物館，高知県立牧野植物園，高知県牧野記念財団，森林総合研究所四国支所，九州大学総合研究博物館，農林水産省門司植物防疫所，北九州市立自然史・歴史博物館，天草市立御所浦白亜紀資料館，熊本市立熊本博物館，九州保健福祉大学，宮崎県総合博物館，鹿児島県立博物館，Deutsches Entomologisches Institut，Thailand Natural History Museum，Publication Committee for the Cetacean Population Studies。

(2) 寄贈（入力完了分のみ）

単行書：237冊，雑誌：1,043冊

(3) 交換（入力完了分のみ）

単行書：51冊，雑誌：436冊

(4) 購入

[備品] 単行書：9冊

[消耗品] 単行書：16冊，雑誌：58冊

7 登録済み資料点数 (令和2年3月31日現在)

- | | |
|----------|------------------------|
| (1) 地学 | 計9,709点 (内元年度1,244点) |
| 鉱物 | 2,448点 (内元年度 45点) |
| 岩石 | 1,571点 (内元年度 10点) |
| 化石 | 5,690点 (内元年度1,189点) |
| (2) 植物 | 計240,983点 (内元年度4,823点) |
| 維管束植物 | 240,983点 (内元年度4,823点) |
| (3) 昆虫 | 計220,687点 (内元年度6,856点) |
| 日本産昆虫類 | 179,234点 (内元年度6,802点) |
| 外国産昆虫類 | 41,453点 (内元年度 54点) |
| (4) 動物 | 計 27,507点 (内元年度 8点) |
| 無脊椎動物 | 11,752点 (内元年度 2点) |
| 哺乳類 | 84点 (内元年度 2点) |
| 鳥類 | 171点 (内元年度 4点) |
| 両生類・爬虫類 | 371点 (内元年度 0点) |
| 魚類 | 15,059点 (内元年度 0点) |
| その他 | 70点 (内元年度 0点) |
| (5) 二次資料 | |
| 図書 | 12,875冊 (内元年度 369点) |
| 逐次刊行物 | 38,852冊 (内元年度2,906点) |

8 標本整理ボランティアの活動

- (1) 植物分野
標本マウント：高林民雄，松田恵子，入江和喜，若林保子，難波知佳子，岡野叔江，大江宏，伏見滋子，早川諒，早川英子，森岡千尋，蒲生直未(敬称略)。延べ207回。
タンポポ調査データ整理：入江和喜，小橋理絵子，森下裕子，早川諒，早川翔(敬称略)。延べ53回。
- (2) 昆虫分野
岡野貴司，斉藤陽一，佐々木良一，宮原康則，山地治(敬称略)。延べ154回。
- (3) 動物分野
小橋理絵子，山崎法子，山野ひとみ(敬称略)。延べ85回。
- (4) 脊椎動物グループ
事業の概要：駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により，ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み，スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資

料として恒久的な管理のもとで展示，普及活動で活用し，博物館活動の輪を一般市民に広げる。延べ243回。

9 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し，博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた(予約制)。植物7回204人，昆虫20回277人。

10 館外者による収蔵資料の利用 (ボランティア活動，お宝探検除く，来館+貸出)

地学4件，植物22件，昆虫147件，動物3件，二次資料49件。

11 収蔵資料を活用した業績 (使用后，当館へ寄贈されたものも含む)

(1) 植物分野 (8件)

岡本泰典．佐藤清明植物コレクションから見出された牧野富太郎採集の竹笹類標本。しぜんしくらしき，(109)：7-10。(6月1日)

黒田有寿茂・小館誓治．兵庫県南東部のアカマツ・コナラ二次林におけるカキノハグサの生育立地特性。植生学会誌，36(1)：1-16。(6月)

小橋理絵子．岡山県新産の帰化植物シラホシムグラの記録。しぜんしくらしき，(110)：2。(9月1日)

藪内喜人．岡山県中西部の水草の分布Ⅰ，シダ植物。しぜんしくらしき，(110)：5-7。(9月1日)

藪内喜人．岡山県笠岡市におけるツツイトモ(ヒルムシロ科)の生育と生態。しぜんしくらしき，(111)：11-13。(12月1日)

溝手啓子．高梁市備中町でイワシロイノデを採集。しぜんしくらしき，(111)：2。(12月1日)

松本哲也・坂田成孝．鳥取県東部で発見されたマイヅルテンナンショウ。植物研究雑誌，95(1)：58-60。(2月20日)

狩山俊悟，岡山県植物誌資料(20)岡山県のセンリョウ科。倉敷市立自然史博物館研究報告，(35)：21-28。(3月25日)

(2) 昆虫分野 (27件)

吉澤聡史・水元誠，岡山県におけるヒトスジチョウカクハネオレバエとウミベカトリバエの記録。はなあぶ，京都，(47)：33-34。(4月1日)

矢口芽生，岡山県におけるキバネツノトンボの追加記録。しぜんしくらしき，(109)：2。(4月1日)

千田喜博，ハラアカコブカミキリを倉敷市真備町において確認。しぜんしくらしき，(109)：11-12。(4月1日)

武田寛生・武田雅生，津山市産ウマノオバチ類の記録。しぜんしくらしき，(109)：17。(4月1日)

加藤学・千田喜博・西崎健二・大生唯統，中国地方におけるチャイロスズメバチの分布拡大。中国昆虫，(32)：5-20。(8月31日)

矢口芽生, ムラカミツツハナバチの新たな記録. しぜんしくらしき, (110): 9. (9月1日)

松本光平・奥島雄一, 岡山県におけるクロカタビロオサムシの追加記録. しぜんしくらしき, (110): 9. (9月9日)

奥島雄一, 初夏に見られた大山の昆虫. しぜんしくらしき, (110): 14-15. (9月1日)

小橋理絵子, 美しく光る昆虫, アオカミキリとアオクチプトカメムシの記録. しぜんしくらしき, (110): 17. (9月1日)

那須敏, トビナナフシ飼育中. 岡山の自然, (209): 22-23. (10月25日)

奥島雄一・水井颯麻, 岡山県におけるシタバニハゴロモの記録. 月刊むし, 東京, (586): 19-20. (12月1日)

小橋理絵子, ケンランアリスアブの岡山県での採集記録. 月刊むし, 東京, (586): 23-24. (12月1日)

矢口芽生, 岡山県初記録のチョウセンホソミコバチ. しぜんしくらしき, (111): 3. (12月1日)

奥島雄一, 中山公園の昆虫. しぜんしくらしき, (111): 15-16. (12月1日)

千田喜博, ミチコヒメハナハネカクシの西限記録. さやばねニューシリーズ, つくば, (36): 77-78. (12月25日)

Kazantsev, S. V. & A. Kopetz, New apterous cantharids from China (Insecta: Coleoptera: Cantharidae). Vernate, 38: 197-219. (2019年内)

那須敏, トビナナフシ飼育中(その2). 岡山の自然, (210): 7-9. (1月30日)

奥島雄一, 抜け殻標本. 自然のおはなし, 141, 山陽新聞(さん太タイムズ), (49107): 7. (2月9日)

山川遼・奥島雄一, 備前市内でのキバネツノトンボの発見. しぜんしくらしき, (112): 2. (3月1日)

矢口芽生, 岡山県初記録のトゲヒメヒラタアブ. しぜんしくらしき, (112): 3. (3月1日)

奥島雄一・三宅誠治, 井上立収集昆虫標本の発見. しぜんしくらしき, (112): 5-10. (3月1日)

末長晴輝, 「哲多すずらんの園」における湿地性昆虫類の調査. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (35): 1-4. (3月25日)

千田喜博, 岡山県産クサカゲロウ科目録および倉敷市立自然史博物館収蔵の岡山県産クサカゲロウ科の記録(アミメカゲロウ目). 倉敷市立自然史博物館研究報告, (35): 5-19. (3月25日)

奥島雄一, 広島県におけるヒラズゲンセイの記録(コウチュウ目, ツチハンミョウ科). 倉敷市立自然史博物館研究報告, (35): 33-34. (3月25日)

越山洋三・伊藤國彦, 岡山市のアカマダラハナムグリ, 新旧2件の採集記録. すずむし, 倉敷, (155): 21. (3月31日)

奥島雄一, 岡山の昆虫—いちばん身近でいちばんわからない生き物—. 岡山の自然と文化, (39): 55-121. (3月31日)

岡山県野生動植物調査検討会編, 岡山県版レッドデータブック2020, 動物編. 812 pp. 岡山県環境文化庁自然環境課. (3月31日)

(3) 動物分野(2件)

三ツ井博晃・後藤颯太・江田伸司・山野ひとみ, 倉敷市立自然史博物館に所蔵されている高梁川水系産の淡水魚類標本. 日本魚類学会2019年年会講演要旨.

吉野諒・藤林真・奥島雄一・亀崎直樹, 岡山県で漂着したアオウミガメとその食性の記録. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (35): 29-31. (3月25日)

12 収蔵設備の充実

昆虫標本保管庫(木製, 大型ドイツ箱24箱用) 4台.

13 収蔵庫の燻蒸

場所: 第一収蔵庫(使用薬剤: エキヒュームS)

期間: 6月30日~7月1日(臨時休館日: 7月2日)

II. 調査研究事業

1 機関研究

(1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究(調査日)

[地学分野: 武智泰史] 5月26日, 6月16日, 11月10日, 12月8日.

[植物分野: 狩山俊悟] 4月4日, 4月25日, 5月19日, 21日, 26日, 6月1日, 7日, 16日, 30日, 8月8日, 10月23日, 11月10日, 27日, 12月8日.

[昆虫分野: 奥島雄一] 4月23日, 5月21日, 26日, 6月2日, 7日, 16日, 9月8日, 10月23日, 11月10日, 27日, 12月8日, 1月26日.

[動物分野: 江田伸司] 5月21日, 25日, 26日, 6月7日, 12日, 16日, 29日, 7月13日, 17日, 9月23日, 10月23日, 11月10日, 11月27日, 12月8日.

(2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究(調査日)

[植物分野: 狩山俊悟] 4月3日, 4月6日, 8月10日, 9月12日, 12月25日, 2月8日.

[昆虫分野: 奥島雄一] 4月28日, 30日, 7月2日, 12日, 14日, 23日, 25日, 8月6日, 7日, 9日, 10月9日, 2月8日.

[動物分野：江田伸司] 4月28日，5月11日，12日，18日，8月31日，9月12日，28日，11月2日。

2 分野別研究テーマ

- (1) 地学：武智泰史
地質鉱物の研究。
- (2) 植物：狩山俊悟
ア 岡山県産植物の分類，地理学的研究。
イ 宇野確雄植物コレクションの分類学的研究。
ウ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援。
エ 岡山県高梁市の植物相調査。
オ 「タンポポ調査・西日本2020」への参加。
- (3) 昆虫：奥島雄一
ア 岡山県の昆虫調査。
イ ジョウカイボン科(コウチュウ目)の分類学的研究。
ウ 自然史資料の収集と活用について。
- (4) 動物：江田伸司
岡山県の動物調査研究。

3 研究業績などの公表

- (1) 博物館講座「学芸員研究紹介」
「地球における各種元素の存在状態について」演者：武智泰史，1月5日，18名。
「タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のセンリョウ科」演者：狩山俊悟，2月22日，22名。
「岡山県の野鳥について」演者：江田伸司，3月14日(延期・開催日未定)。
「どうなる虫屋の遺産～あげる側ともらう側の事情～」演者：奥島雄一，3月22日(延期・開催日未定)。
- (2) 当館より発行された刊行物
倉敷市立自然史博物館研究報告第35号，3月25日，550部発行，A4判，61ページ，モノクロ，寄贈交換先へ配布するほか，1部1,100円(税込)で有料頒布。収録報文(*は館外研究者)
[論文]
末長晴輝*，「哲多すずらんの園」における湿地性昆虫類の調査。1-4。
千田喜博*，岡山県産クサカゲロウ科目録および倉敷市立自然史博物館収蔵の岡山県産クサカゲロウ科の記録(アミメカゲロウ目)。5-19。
[ノート]
狩山俊悟，岡山県植物誌資料(20)岡山県のセンリョウ科。21-28。
[短報]
吉野 諒*・藤林 真*・奥島雄一・亀崎直樹*，岡山県で漂着したアオウミガメとその食性の記録。29-31。
奥島雄一，広島県におけるヒラズゲンセイの記録(コウチュウ目，ツチハンミョウ科)。33-34。

(3) 当館以外の刊行物への寄稿(118件)

ア 武智泰史：地学担当(6件)

自然界のウランと人形峠のウラン鉱床，令和元年度放射線安全取扱部会年次大会(第60回放射線管理研修会)要旨集，公益社団法人日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会，49-50。

地球の元素，自然のおはなし，山陽新聞。(8月11日)

第28回特別展「地球の元素」関連イベントの報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(335):9。(11月9日)

火山灰，自然のおはなし，山陽新聞。(12月8日)

共著：田中良・武智泰史・石山大三，長野県天龍村神豊太陽鉱床のTiO₂鉱物と熱水変質作用，伊那谷自然史論，21:17-21。

共著：西居俊基・小林祥一・武智泰史・楢原順・草地功，岡山県布賀鉱山におけるCaO-B₂O₃-H₂O系鉱物のホウ素同位体組成とその起源，岡山理科大学フロンティア理工学研究所研究報告，1:65-69。

イ 狩山俊悟：植物担当(62件)

寄付御礼。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(328):10。(4月13日)

会費をお届けくださったのは？ 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(328):10。(4月13日)

第289回シダ観察会-総社市(旧総社市)- (2019年2月16日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(328):3。(4月13日)

博物館講座「山陽地方に分布する植物-学芸員研究紹介-」報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(328):8。(4月13日)

自由展示コーナーを「タンポポ調査・西日本2020」のお誘い展示に更新。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(328):8。(4月13日)

第290回シダ観察会-井原市(旧井原市)- (2019年3月18日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(329):3。(5月11日)

タンポポ調査グループ情報201905。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(329):6。(5月11日)

植物教室「岡山県のタンポポ調査」報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(329):8。(5月11日)

岡山県の外来タンポポ，タネの色で種類を区別する，自然のおはなし。山陽新聞(さん太タイムズ)。(5月12日)

島の植物を調べる。日本 潮風の花 スタートBOOK，pp. 89-94。析の葉書房，鹿沼市。(6月17日)

鴻島北部(備前市日生町日生)の植物。しぜんしくらしき，(109):13-14。(6月1日)

職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(330):3。(6月8日)

第291回シダ観察会-吉備中央町(旧加茂川町)- (2019年4月15日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の

会ニュース, (330) : 4. (6月8日)

タンポポ調査グループ情報201906. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (330) : 6. (6月8日)

「タンポポ調査・西日本2020」調査サンプル検討会 兼第2回スタッフ会議のお知らせ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (330) : 9. (6月8日)

第292回シダ観察会-新潟県佐渡島- (2019年5月27~30日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (331) : 4. (7月13日)

タンポポ調査グループ情報201907. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (331) : 7. (7月13日)

ミニ展示「令和にちなんだ植物」を行っています. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (331) : 8. (7月13日)

ミニ展示を「特殊岩石地帯の植物」に更新. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332) : 10. (8月10日)

竹細工の生きものたちを展示. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332) : 10. (8月10日)

タンポポ調査西日本実行委員会による会議がありました. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332) : 10. (8月10日)

博物館講座「植物の採集方法と標本の作り方」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332) : 10-11. (8月10日)

第293回シダ観察会-津山市(旧津山市)- (2019年6月17日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332) : 5. (8月10日)

タンポポ調査グループ情報201908. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332) : 7. (8月10日)

高梁市松原町神原のタンポポ. しぜんしくらしき, (110) : 11. (9月1日)

入江和喜・狩山俊悟. 咲き始めた春の草花たち. しぜんしくらしき, (110) : 11-12. (9月1日)

真庭市余野下で観察した植物. しぜんしくらしき, (110) : 13-14. (9月1日)

岡山県立森林公園の温帯性植物. しぜんしくらしき, (110) : 14. (9月1日)

特殊岩石地帯の植物, 母岩に含まれる元素の影響を受ける, 自然のおはなし. 山陽新聞(さん太タイムズ). (9月8日)

第295回シダ観察会-鏡野町(旧奥津町)- (2019年8月17日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (334) : 5. (10月12日)

新メーリングリスト運用開始. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (334) : 9. (10月12日)

身近な植物たち(10) フジバカマ. 倉敷の自然, (107) : 22. (10月31日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335) : 4. (11月9日)

第296回シダ観察会-真庭市(旧湯原町)- (2019年9月9日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335) : 5. (11月9日)

2019年10月12日から新メーリングリスト運用開始. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335) : 8. (11月9日)

第8回出前自然史博物館「1日だけの自然史博物館」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335) : 8-9. (11月9日)

スライド映写会「花の百名山を訪ねて6~戸隠山, 鳳凰(ほうおう)山, 剣山~」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335) : 9. (11月9日)

共著(角野康郎・池田博・海老原淳・上赤博文・狩山俊悟・黒沢高秀・佐久間大輔・志賀隆・鈴木浩司・鈴木まほろ・瀬戸口浩彰・高宮正之・高野温子・藤井伸二・藤川和美・持田誠). 地域植物研究会等の現状・アンケートに基づく考察. 植物地理・分類研究, 67(2) : 165-178. (11月15日)

令和2年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (336) : 11. (12月14日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (336) : 3. (12月14日)

第297回シダ観察会-津山市(旧久米町)- (2019年10月15日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (336) : 4. (12月14日)

第298回シダ観察会-新見市(旧哲多町)- (2019年11月11日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337) : 3. (1月11日)

「タンポポ調査・西日本2020」2019年の調査状況(スタッフ会議の資料から). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337) : 5. (1月11日)

スライド映写会「花の百名山を訪ねて6~戸隠山, 鳳凰山, 剣山~」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337) : 7. (1月11日)

ミニ展示「干支(ネズミ)にちなんだ植物」開催中. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337) : 7. (1月11日)

博物館講座「タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のセンリョウ科-学芸員研究紹介-」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337) : 7. (1月11日)

令和2年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337) : 9. (1月11日)

第299回シダ観察会-岡山市北区(旧建部町)- (2019年12月16日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338) : 2. (2月8日)

「タンポポ調査・西日本2020」3月1日から開始. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338) : 4. (2月8日)

大森長朗海藻コレクションを整理. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338) : 4. (2月8日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338) : 8. (2月8日)

2年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338) : 8. (2月8日)

植物教室「タンポポ調査のデータ整理方法」. 倉敷市

立自然史博物館友の会ニュース, (339): 10. (3月14日)

「タンポポ調査・西日本2020」に参加しませんか. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 10. (3月14日)

第300回シダ観察会-長島(瀬戸内市邑久町虫明)-(2020年1月14日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 5. (3月14日)

「タンポポ調査・西日本2020」の調査用紙とカラーチラシを同封. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 7. (3月14日)

大森長朗海藻コレクションを整理. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 7-8. (3月14日)

博物館講座「タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のセンリョウ科-学芸員研究紹介-」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 9. (3月14日)

ミニ展示「タンポポ調査・西日本2020 実施中!!」のお知らせ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 9. (3月14日)

身近な植物たち(11) ハコベ類. 倉敷の自然, (108): 24. (3月31日)

共編: 岡山県野生動植物調査検討会編, 岡山県野生生物目録 2019 ver. 1. 1. 516 pp. 岡山県環境文化庁自然環境課. (3月31日)

一部著: 岡山県野生動植物調査検討会編, 岡山県レッドデータブック2020, 植物編. 368 pp. 岡山県環境文化庁自然環境課. (3月)

ウ 奥島雄一: 昆虫担当 (48件)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (328): 4. (6月13日)

昆虫グループ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (328): 5. (6月13日)

博物館講座「むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究発表会」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (328): 9. (6月13日)

倉敷市立自然史博物館のお知らせ. KURAKON, 9): 494. (5月8日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (329): 4. (5月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (329): 5-6. (5月11日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (330): 5. (6月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (330): 6. (6月8日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (330): 9. (6月8日)

アオヒメハナムグリ. 自然のおはなし, 133, 山陽新

聞(さん太タイムズ), (48876): 7. (6月16日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (331): 6. (7月13日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (331): 7. (7月13日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (331): 8-9. (7月13日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332): 6. (8月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (332): 7. (8月10日)

共著: 松本光平・奥島雄一, 岡山県におけるクロカタビロオサムシの追加記録. しぜんしくらしき, (110): 9. (9月1日)

初夏に見られた大山の昆虫. しぜんしくらしき, (110): 14-15. (9月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (333): 7. (9月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (333): 8. (9月14日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (333): 10-11. (9月14日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (334): 6. (10月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (334): 7. (10月12日)

ショウリョウバッタ. 自然のおはなし, 137, 山陽新聞(さん太タイムズ), (48992): 7. (10月13日)

第19回「11月3日は自然史博物館まつり」速報. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335): 2. (11月9日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335): 6. (11月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335): 7. (11月9日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (335): 6. (11月9日)

倉敷市立自然史博物館のお知らせ. KURAKON, 倉敷, (90): 499-500. (11月28日)

どうなる虫屋の遺産~あげる側ともらう側の事情~.

第10回日本甲虫学会・第22回日本昆虫分類学会・第3回九州・沖縄昆虫研究会・2019年度日本鱗翅学会九州支部合同大会講演要旨集, p. 24. 第10回日本甲虫学会・第22回日本昆虫分類学会・第3回九州・沖縄昆虫研究会・2019年度日本鱗翅学会九州支部合同大会事務局, 福岡. (11月30日)

共著: 奥島雄一・水井颯麻, 岡山県におけるシタベニ

ハゴロモの記録. 月刊むし, 東京, (586): 19-20. (12月1日)

共著: 石井勇氣・奥島雄一, 福山市で極小カブトムシを採集. しぜんしくらしき, (111): 7-8. (12月1日)

中山公園の昆虫. しぜんしくらしき, (111): 15-16. (12月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (336): 5. (12月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (336): 6. (12月14日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (336): 8. (12月14日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337): 4. (1月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (337): 5. (1月14日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338): 3. (2月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338): 4. (2月8日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (338): 6. (2月8日)

抜け殻標本. 自然のおはなし, 141, 山陽新聞 (さん太タイムズ), (49107): 7. (2月9日)

共著: 山川遼・奥島雄一, 備前市内でのキバネツノトンボの発見. しぜんしくらしき, (112): 2. (3月1日)

共著: 奥島雄一・三宅誠治, 井上立収集昆虫標本の発見. しぜんしくらしき, (112): 5-10. (3月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 7. (3月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (339): 8. (3月14日)

岡山の昆虫—いちばん身近でいちばんわからない生き物—. 岡山の自然と文化, (39): 55-121. (3月31日)

一部著: 岡山県野生動植物調査検討会編, 岡山県レッドデータブック 2020, 動物編. 812 pp. 岡山県環境文化部自然環境課. (3月31日)

共編: 岡山県野生動植物調査検討会編, 岡山県野生

物目録 2019 ver. 1. 1. 516 pp. 岡山県環境文化部自然環境課. (3月31日)

エ 江田伸司: 動物担当 (2件)

ヤマセミ. 自然のおはなし, 131, 山陽新聞 (さん太タイムズ), (48816): 7. (4月14日)

マガン. 自然のおはなし, 138, 山陽新聞 (さん太タイムズ), (49019): 7. (11月10日)

(4) 発表・講演

ア 武智泰史: 地学担当 (1件)

自然界のウランと人形峠のウラン鉱床, 令和元年度放射線安全取扱部会年次大会 (第60回放射線管理研修会), 公益社団法人日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会, 倉敷市芸文館. (10月24日~25日)

イ 狩山俊悟: 植物担当 (1件)

共同 (鈴木武・木村進・狩山俊悟・小川誠). タンポポ調査・西日本2020について (ポスター発表). 日本植物分類学会第19回大会, 岐阜大学. (3月1~3日) (現地開催中止, 要旨集配布によって成立)

ウ 奥島雄一: 昆虫担当 (2件)

どうなる虫屋の遺産~あげる側ともらう側の事情~. 第10回日本甲虫学会・第22回日本昆虫分類学会・第3回九州・沖縄昆虫研究会・2019年度日本鱗翅学会九州支部合同大会, 九州大学 (福岡市). (12月1日)

共同 (奥島雄一・三宅誠治), 井上立コレクションの発見. 2019年倉敷昆虫同好会年末例会, しげい病院 (倉敷市). (12月22日)

エ 江田伸司: 動物担当 (1件)

共同 (井川緑・井川快晴・井川賢一・江田伸司・多田英行). 平成30年西日本豪雨被災地におけるツバメの被災後最初の営巣場所選択について (ポスター発表). 日本鳥学会2019年度大会, 帝京科学大学 (9月13~15日)

4 査読

奥島雄一: 昆虫担当 (3件)

4月29日 Elytra, New Series, Tokyo.

5月2日 Taiwanese Journal of Entomological Studies, Taiwan.

9月9日 Elytra, New Series, Tokyo.

Ⅲ. 展示事業

1 常設展

[エントランスホール]

動くナウマンゾウの母子, 倉敷の化石動物.

[第1展示室：岡山県のなりたち] 展示数約270点
地球と生物の歴史，岡山県の地史，岡山県の地形，ナウマンゾウ骨格模型，倉敷市の地質と岩石，岡山県のスカン，岡山県の岩石と鉱物，倉敷周辺の平野のなりたち。

[第2展示室：岡山県のいきもの] 展示数約1,000点
岡山県の地形・地質と気候，岡山県の自然といきもの，阿哲の石灰岩台地，自然は変わる，ビデオコーナー。

[第3展示室：昆虫の世界] 展示数約9,200点
体のしくみ，昆虫の歴史と分類，色と形のふしぎ，世界の昆虫，昆虫の生活，当館の昆虫コレクション，話題の虫。

[第4展示室：植物の世界] 展示数約1,000点
生物の五界説，植物のかたち，植物のなにか，植物の分布，岡山県の植物，倉敷市の植物，くらしの中の植物，自由展示。

2 特別展

(1) 実施概要

標題：第28回特別展「地球の元素」

会期：令和元年7月20日（土）～10月14日（月・祝）

会場：特別展示室

主催：倉敷市立自然史博物館

共催：倉敷市立自然史博物館友の会

観覧料：通常観覧料

(2) 展示内容

地球を構成する元素約90種の存在状態について，地下深部の特殊な岩石や，リチウム・ベリリウム・希土類元素（レアアース）・ニオブ・タンタルなど特殊な元素を含む世界の鉱物・岩石などの展示をとおして紹介した。

また，昭和時代に岡山県内で操業していた鉱山から産したビスマス・テルル・水銀・モリブデン・金などの希少元素を含む鉱物も展示した。

ア 地球の構造（地殻・マントル・核）と構成元素

地殻の元素，マントルの元素，核の元素

イ 元素の種類と石の色

典型元素だけからできている鉱物，典型元素を主成分とし，少量の遷移元素を含む鉱物，遷移元素を主成分とする鉱物

ウ 自然界からの元素の発見について

コバルト，ニッケル，セリウム，ランタン，ストロンチウム，ポロニウム，ラジウム

エ 元素の価格

オ 元素の族ごとの地球における存在状態

1族の元素，2族の元素，3・4・5・6・7族元素，8・9・10族元素，11族元素，12族元素，13族の元素，14族の元素，15族の元素，16族の元素，17族の元素，18族の元素

カ 岡山県で産出した希少元素を含む鉱物

- (3) 関連イベント（講師：武智泰史）
7月20日，8月31日 「特別展展示解説1」
7月21日 「特別展展示解説2」
8月4日 「黒鉱の顕微鏡観察」
8月25日 「金鉱石の顕微鏡観察1」
9月1日 「銅鉱石の顕微鏡観察」
9月29日 「金鉱石の顕微鏡観察2」

(4) 会期中の観覧者数 12,622名，満足度 92% (n=156)。

3 特別陳列

(1) 「新着資料展2019<昆虫1>」3月9日～4月7日，特別展示室，松下啓一チョウ類コレクション（10,002点）／國本尚憲昆虫コレクション（820点）を展示。

(2) 「脊椎動物化石」4月1日～4月19日，2階事務室前。

(3) 「新着資料展2019<昆虫2>」4月20日～7月7日，特別展示室，黒田祐一昆虫コレクション（10,340点，主にカミキリムシ）を展示。

(4) 「博物学者佐藤清明を知っていますか」4月21日～5月19日，2階事務室前，主催：里庄町立図書館・佐藤清明資料保存会。

(5) 「畠田和一貝類コレクション展1 畠田和一が発見した新種・新亜種」7月26日～2020年3月31日，2階事務室前。

(6) 「鳴く虫サロン」9月8～22日，講義室，出品者数25名，出品点数29ケース。

(7) 「みんなの動物ラボ」（脊椎動物グループ）10月20日～11月3日，特別展示室。

(8) 「第27回しぜんしくらしき賞作品展」11月9日～12月18日，特別展示室，共催：倉敷市立自然史博物館友の会，出品点数44点。

(9) 「草地功地学標本コレクション展 その2」1月5日～2月23日，特別展示室。

(10) 「新着資料展2020」3月7日～4月5日，特別展示室，ブッポウソウ本剥製，ミヤマホオジロ本剥製，小島裕子植物コレクションの一部，岡山県産希産植物標本，友の会グループ調査標本，ブラジル産紫水晶，ブラジル産リチア電気石，サハラ砂漠産石膏，中国産辰砂，中国産魚化石，福井県産球状花こう岩，兵庫県産スズ石・黄銅鉱・方鉛鉱・閃亜鉛鉱，岡山県奈義町の1500万年前の海生動物の化石 など。

4 ミニ水族館の展示（敬称略）

5月19日	シオカラトンボ幼虫, オイカワ稚魚	泉川晴波
5月23日	クロゲンゴロウ, ガムシ	岡本 忠
5月30日	ヒメミズカマキリ, オオコオイムシ, マツモムシ	岡本 忠
6月2日	コシマゲンゴロウ, ヒメガムシ, タニシ類, 貝類	稲垣結士
6月4日	シオカラトンボ幼虫	竹吉栄太
6月12日	オオコオイムシ, クロゲンゴロウ, ドジョウ, オタマジャクシ	守安 敦
6月21日	ガムシ類卵のう	前田セツ子
6月23日	コガムシ, ヌマエビ類	竹吉栄太
7月28日	タガメ	衛藤慎一
8月3日	コオイムシ幼虫	竹吉栄太
8月9日	ミズカマキリ, ヤゴ, 小魚	宮本悠希
8月16日	ミズカマキリ	齋藤荘志
9月23日	タイコウチ	岩瀬和泰
10月10日	ガムシ, ヒメミズカマキリ, コオイムシ	岡本 忠
10月20日	ミズカマキリ, マツモムシ	市村繪文
11月3日	クロゲンゴロウ, ヒメゲンゴロウ, ガムシ, ヤンマ科幼虫	守安 敦
11月6日	ショウジョウトンボ幼虫, エグリトビケラ幼虫	小橋理絵子
12月25日	水草	小田敦子

5 常設展示の更改

(1) 第3展示室「当館の昆虫コレクション」随時更新.

「話題の虫」アヤスジミゾドロムシ, 当館最古の岡山県産昆虫標本, アオヒメハナムグリ, ノコギリクワガタ, ショウリョウバッタ, シタバニハゴロモ, 昆虫宝箱発見, トンボの抜け殻標本.

(2) 第4展示室「植物の自由展示」

3月15日～6月20日 「タンポポ調査に参加しませんか(2019年)」.

6月21日～7月17日 「令和にちなんだ植物」.

7月17日～12月5日 「特殊岩石地帯の植物」.

12月6日～2月24日 「干支(ネズミ)にちなんだ植物」.

2月26日～継続 「タンポポ調査に参加しませんか(2020年)」.

6 生きた動植物の展示(敬称略)

1月5日～23日 春の七草の鉢植え 貝原千恵子氏.

7 植物クラフトの展示(敬称略)

7月20日～8月30日 「これも竹! それも竹!」 高杉龍美氏.

8 恐竜と季節の植物のぬり絵

(1) 恐竜: ティラノサウルス, トリケラトプス, プテラノドン

(2) 季節の植物: ゲンゲ(4月), アケビ, ミツバアケビ(5月), ナワシロイチゴ, ノイバラ(6月), ツユクサ(7月), メマツヨイグサ(8月), ミズアオイ(9月), イシミカワ・チャノキ(10月), コナラ・チャノキ(11月), ナルトリイバラ(12月), ホトケノザ・ウメ(1月), ナズナ・ウメ(2月), オオイヌノフグリ(3月)

9 自然情報掲示板の設置

1階受付前に設置し, 最新の自然の話題などを紹介している. 随時更新.

10 倉敷まちかど博物館

財団法人自治総合センターの「平成25年度コミュニティ一助成事業」の助成を受けて, 当館が所蔵する岩石, 鉱物, 化石, 植物, 昆虫, 動物などの本物の標本を, 移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて, 公共性の高い施設, または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている.

令和元年度新規貸出実績: 延べ17施設, 34台(継続含まず, 更新含む). 設置先: 倉敷市立西小学校, 倉敷市立下津井西小学校, 倉敷市立水島中学校, 倉敷市立中央図書館, 倉敷市立水島図書館, 倉敷市立児島図書館, 倉敷市立船徳図書館, ライフパーク倉敷市民学習センター, 倉敷市環境学習センター, 環境学習センター「アスエコ」, 倉敷市役所教育長室, 倉敷児童館, 児島児童館, 倉敷昆虫館, 倉敷駅前観光案内所(倉敷市観光コンベンションビューロー).

11 ボランティアの活動

(1) ミニ水族館の管理(敬称略)

倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科: 山野ひとみほか, 延べ47名.

(2) 昆虫ボランティアガイドの活動(敬称略)

藤沢悦治, 延べ28回.

12 他館展示協力

4月1日～3月31日 倉敷埋蔵文化財センター, 常設展(哺乳類化石を貸出).

4月1日～3月31日 岡山県自然保護センター, 常設展(哺乳類化石を貸出).

4月1日～3月31日 岡山県立博物館, 常設展(哺乳類化石を貸出).

6月29日～9月1日 萩博物館, 特別展「危険生物大迷宮」(ヒアリ標本を貸出).

10月4日～11月24日 福井県教育総合研究所教育博物館, 特集展示「平瀬作五郎展」(イチョウ化石の画像の使用許可).

IV. 教育普及事業

※参加者（カッコ内は野外活動における中学生以下の人数）

- 1 自然観察会 参加者合計789 (256)名
 - 4月7日 第322回自然観察会「岡山県のタンポポ調査」高梁市松原町, 23(2)名
 - 4月13日 第323回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年春」倉敷市寿町, 75(30)名
 - 5月18日 第324回自然観察会「倉敷美観地区で淡水魚を観察しようー初夏編ー」倉敷市中央, 25(8)名
 - 5月26日 第325回自然観察会「おかやま自然探訪61」真庭市余野下, 24(5)名
 - 6月1日 第326回自然観察会「中国山地の植物観察3～岡山県立森林公園～」苫田郡鏡野町上斎原, 33(2)名
 - 6月16日 第327回自然観察会「おかやま自然探訪62」美作市巨勢, 32(4)名
 - 6月29日 第328回自然観察会「ブッポウソウ観察会in鳥取」鳥取県南部町, 25(2)名
 - 7月13日 第329回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会 in 岡山」岡山県吉備中央町, 26(2)名
 - 7月14日 第330回自然観察会「夏だ！昆虫採集」倉敷市児島小川町, 131(65)名
 - 8月10日 第331回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年夏&セミのぬけがら調査」倉敷市寿町, 105(56)名
 - 9月15日 第332回自然観察会「ミズアオイ観察会」倉敷市加須山, 61(18)名
 - 9月28日 第333回自然観察会「倉敷美観地区で淡水魚を観察しようー秋編ー」倉敷市中央, 26(7)名



自然観察会【倉敷美観地区で淡水魚を観察しよう】

- 10月27日 第334回自然観察会「河原での岩石の観察」岡山市北区御津矢原, 38(11)名
- 11月9日 第335回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年秋」倉敷市寿町, 72(17)名
- 11月10日 第336回自然観察会「おかやま自然探訪63」津山市阿波, 18(5)名
- 12月8日 第337回自然観察会「おかやま自然探訪64」瀬

戸内市長船町, 14(2)名

- 2月8日 第338回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年冬」倉敷市寿町, 61(20)名
- 3月29日 第339回自然観察会「ミズアオイの種まき会」倉敷市加須山, 中止

2 博物館講座 参加者合計184名

- 5月3日 「佐藤清明と牧野富太郎・柳田國男・南方熊楠」75名
- 6月30日 「昆虫の採集方法と標本の作り方」57名



博物館講座【昆虫の採集方法と標本の作り方】

- 7月15日 「植物の採集方法と標本の作り方」12名
- 1月5日 「学芸員研究紹介ー地学ー：地球における各種元素の存在状態について」18名
- 2月22日 「学芸員研究紹介ー植物ー：タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のセンリョウ科」22名
- 3月14日 「学芸員研究紹介ー動物ー：岡山県の野鳥について」中止
- 3月22日 「学芸員研究紹介ー昆虫ー：どうなる虫屋の遺産～あげる側ともらう側の事情～」中止

3 特別展開連講座

- 7月20日, 8月31日 「特別展展示解説1」計27名
- 7月21日 「特別展展示解説2」26名
- 8月4日 「黒鉱の顕微鏡観察」10名
- 8月25日 「金鉱石の顕微鏡観察1」2名
- 9月1日 「銅鉱石の顕微鏡観察」9名
- 9月29日 「金鉱石の顕微鏡観察2」9名

4 自然の標本なんでも相談会

- 8月18日 95名

5 動物研究会

- 5月25日 「第9回魚類調査」浅口市金光町, 20(8)名

6 地学教室

実施なし

7 植物教室

4月6日「岡山県のタンポポ調査」 21(6)名

8 むしむし探検隊 参加者延べ162(33)名

隊長：奥島雄一(館員)，サポートスタッフ：岡野貴司，中野一成，磯野裕昭，加藤学，高橋元，末長晴輝，藤澤作典，武田寛生，武田雅生，松本光平，安達由莉，荒木海人，阿曾龍登，大江優輔，藤本徹哉，神田佐奈恵(館員)，隊員(小5～高2)20名

4月21日 オリエンテーション 43名

6月2日 第1回探検 笠岡市真鍋島，27(17)名

9月8日 第2回探検 総社市，30(16)名

9月8日～22日 「鳴く虫サロン」出品 22名

9月1日～29日 「しぜんしくらしき賞」応募 17名

11月3日 自然史博物館まつり参加 23名

3月22日 研究発表会 延期(開催日未定)

「博物館の達人」認定 延べ7名

9 自然素材を使った手作り教室

毎月第2日曜日 延べ381名

10 折り紙教室

毎月第4日曜日 延べ228名

11 スライド映写会

12月14日 高山植物スライド会「花の百名山を訪ねて6～戸隠山，鳳凰山，剣山～」32名

12 昆虫標本作り体験教室(計7回，7名)

希望者(事前予約)を対象とした昆虫標本作り

5月23日 1名，6月1日 1名，8月12日 1名，8月18日

1名，9月18日 1名，9月15日 1名，9月22日 1名

13 第19回 11月3日は自然史博物館まつり

日時：11月3日(日，祝)，8時45分～16時

会場：倉敷市立自然史博物館，くすのき広場

主催：倉敷市立自然史博物館

共催：倉敷市立自然史博物館友の会

後援：(公社)倉敷観光コンベンションビューロー

その他：第17回おかやま県民文化祭参加事業，おかやま教育週間関連事業

出展協力：岡山クワガタ研究会，岡山大学ギターマンドリンクラブ，岡山理科大学，倉敷昆虫館，倉敷市環境学習センター，重井薬用植物園，非営利活動法人フォレストフオーピープル岡山(五十音順)

協力：倉敷芸術科学大学，ニューロンサニター株式会社(五十音順)

イベント・ブース：開会式，どんぐりごま選手権，自転車発電！環境学習センター，昆虫きもだめし(むしむし探検隊)，スズメバチの巣解体ショー(むしむし探検隊)，化石さがし，博物館のお宝探検(地学・植物・昆虫・動物)，

ヘラクレスドーム(岡山クワガタ研究会)，虫を顕微鏡で見よう(倉敷昆虫館)，山野草を楽しもう！出張！重井薬用植物園，葉拓づくり体験(非営利活動法人フォレストフオーピープル岡山)，喫茶コーナー，ホネホネ鑑定団(岡山理科大学)，缶バッジづくり，みんなの動物ラボ(脊椎動物グループ)，がりがりトンボ・身近な動物をつくろう(手作り教室)，岡山大学ギターマンドリンクラブ演奏・楽器体験，ミュージアムパズル

来場者数：5,701名，満足度：95.2%(n=250)

参加スタッフ：218名(博物館15，ブース等153，芸科大ボランティア50)

14 ないと・みゅーじあむ

3月14日 中止

15 出版物

[パオちゃん's EYE]

No.25「当館最古の岡山県産昆虫標本」奥島雄一(4月)

No.26「外来タンポポの変わり者」狩山俊悟(5月)

No.27「地球の元素」武智泰史(6月)

No.28「倉敷美観地区で淡水魚を観察しよう」江田伸司(7月)

No.29「ノコギリクワガタ」奥島雄一(8月)

No.30「特殊岩石地帯の植物」狩山俊悟(9月)

No.31「レアメタルの鉱石」武智泰史(10月)

No.32「自然観察のジंकス」江田伸司(11月)

No.33「昆虫宝箱発見！」奥島雄一(12月)

No.34「ネズミにちなんだ植物」狩山俊悟(1月)

No.35「褐鉄鉱」武智泰史(2月)

No.36「今年の干支はネズミ」江田伸司(3月)

16 レファレンス

質問，同定依頼，研究協力，原稿校閲，マスコミ取材等への対応

地学85件，植物300件，昆虫391件，動物194件，その他6件(計976件)

17 ガイダンス

教育普及担当職員によるエントランスホールでの案内

幼稚園・保育園・認定こども園17，小学校20，支援学校2，その他5(計44件)

18 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館実習

総合分野：8月12～19日 辻弘美(八洲学園大学)，濱口友希(琉球大学)，稲澤睦美(岡山大学)，萩原舞花(岡山大学)

(2) 博物館見学実習

[当館職員が対応したもの]

4月19日 岡山大学 45名

6月22日 岡山理科大学 39名

6月29日	岡山理科大学	34名
10月3日	岡山理科大学	20名
10月5日	岡山大学	17名
10月11日	岡山商科大学	7名
10月19日	倉敷市立短期大学	55名
12月26日	倉敷芸術科学大学	45名
3月5日	福山市立大学	58名

(3) 小中高校生の実習

[職場体験] (植物分野:植, 昆虫分野:昆)

5月15日～17日	倉敷市立真備東中学校 (植昆)	3名
7月9日～11日	倉敷市立水島中学校 (昆)	1名
8月28日～30日	倉敷市立南中学校 (植昆)	2名
9月4日～6日	倉敷市立新田中学校 (昆)	1名
9月11日～13日	倉敷市立東陽中学校 (昆)	1名
10月16日～18日	倉敷市立東中学校 (植昆)	2名
10月23日～25日	倉敷市立真備中学校 (植)	1名
10月24・25・29日	岡山県立倉敷天城中学校 (植昆)	2名
10月29日～31日	倉敷市立連島中学校 (昆)	1名
11月6日～8日	倉敷市立連島南中学校 (植昆)	2名
11月12日～13日	倉敷市立北中学校 (昆)	1名
11月12日～14日	岡山市立高松中学校 (植昆)	2名
11月19日～21日	倉敷市立庄中学校 (植)	1名
1月15日～17日	倉敷市立船穂中学校 (植)	1名

[班別自主研修]

7月18日	岡山県立倉敷工業高等学校	11名
12月11日	岡山県立倉敷南高等学校	13名

19 講師派遣 (「出前講座」含む) 参加者合計1,572(274)名

(1) 武智泰史: 地学担当 (2回, 約310名)

7月26日 「出前講座/岩石や鉱物と化石」, 東雲保育園, 10(0)名。

10月25日 「日本アイソトープ協会令和元年度放射線安全取扱部会年次大会 (第60回放射線研修会) 講演/自然界のウランと人形峠のウラン鉱床」, 倉敷市芸文館, 約300(0)名。

(2) 狩山俊悟: 植物担当 (24回, 約910(約50)名)

4月8日 「市民登山学校4月定例講座『高山植物について』」, 高松市創造都市推進局文化, 観光, スポーツ部スポーツ振興課, 約60(0)名。

4月28日 「自然観察会『春の海岸植物をみよう』」, 倉敷市立自然史博物館友の会, 56(6)名。

5月19日 自然観察会「スゲ観察会」, 倉敷市立自然史博物館友の会, 24(0)名

6月12日 「出前講座/倉敷市立自然史博物館について (博物館資料保存論)」, 倉敷芸術科学大学, 35名。

6月30日 自然観察会「第24回シダの世界」, 倉敷市立自然史博物館友の会, 10(1)名。

7月27-28日 宿泊自然観察会「新郷の自然」, 倉敷市立自然史博物館友の会, 16(5)名。

8月7日 「日本生物教育会第74回全国大会 (岡山大

会) 『博物館でわくわくコース～倉敷市立自然史博物館～』」, 岡山県高等学校教育研究会理科部会・日本生物教育会岡山大会実行委員会, 14(0)名。

8月8日 「日本生物教育会第74回全国大会 (岡山大会) 『川でわくわくコース～三畳紀の地質・石灰岩地域の自然と人の営み～』」, 岡山県高等学校教育研究会理科部会・日本生物教育会岡山大会実行委員会, 15(0)名。

9月12日 「出前講座/身近な野生植物の観察やお話 (船穂町の植物と校庭の樹木)」, 倉敷市立柳井原小学校, 40(34)名。

9月22日 「コウノトリの郷へ」倉敷市立自然史博物館友の会, 28(1)名。

10月6日 「津黒のきのご観察会」倉敷市立自然史博物館友の会, 22(4)名。

10月13日 「矢掛町の植物」, 矢掛町三谷公民館, 50(0)名。

10月19日 「出前講座/身近な野生植物の観察やお自然史博物館について」, 倉敷市立短期大学, 55名。

10月20日 「出前講座/身近な野生植物の観察やお話 (鷲羽山植物観察会)」鷲羽山ビジターセンター, 10(0)名。

11月14日 「博物館資料論」, 倉敷芸術科学大学, 55名。

11月21日 「博物館資料論」, 倉敷芸術科学大学, 55名。

11月28日 「博物館資料論」, 倉敷芸術科学大学, 55名。

12月11日 「施設見学『キャリアⅠ 環境入門』」, 岡山県立倉敷南高等学校, 13名。

12月26日 「博物館資料論」, 倉敷芸術科学大学, 55名。

1月19日 「自然観察会『釜島の自然』」, 倉敷市立自然史博物館友の会, 30(2)名。

3月3日 「森林資源学」, 福山市立大学, 60名。

3月4日 「森林資源学」, 福山市立大学, 60名。

3月5日 「森林資源学」, 福山市立大学, 60名。

3月6日 「森林資源学」, 福山市立大学, 60名。

(3) 奥島雄一: 昆虫担当 (10回, 352(224)名)

7月12日 「出前講座/どこでも昆虫採集」, 倉敷市立万寿東幼稚園, 52(26)名。

7月23日 「出前講座/どこでも昆虫採集」, 郷内児童クラブ, 40(35)名。

7月25日 「出前講座/どこでも昆虫採集」, 大高小学校支援ボランティア, 41(29)名。

8月6日 「出前講座/どこでも昆虫採集」, 船穂町青少年を育てる会, 25(11)名。

8月7日 「出前講座/どこでも昆虫採集」, 味っ子クラブ, 55(48)名。

8月7日 「令和元年度生物教育研究会」, 岡山県高等学校教育研究会理科部会生物分科会, 14名。

8月9日 「出前講座/どこでも昆虫採集」, 上成キ

ラキラ児童クラブ, 60(50)名.

8月11日 「夏休み! わくわく昆虫教室」, 高梁市成羽美術館, 23(15)名.

10月5日 人文系博物館実習, 岡山大学文学部, 17名.

1月26日 「初心者のための自然観察会」 「越冬昆虫大発見!」, 岡山県自然保護センター, 25(10)名.

20 マスコミ報道 (館名, 氏名公表分のみ) (40件)

(1) 倉敷市立自然史博物館 (4件)

6月1日発行 山陽新聞 (おかくらプラス), 「世界の“カミキリ”標本, 倉敷・自然史博物館, 故黒田さん寄贈1万点公開」.

6月11日発行 津山朝日新聞, 「テングチョウ大発生, 県中部以北で報告急増, 津山市や美咲町..., 天敵の減少影響か」.

7月4日放送 山陽放送ラジオ, 「カモナ・マイRadio!」, 「新着資料展『黒田祐一コレクション』」(神田佐奈恵).

11月3日以降放映 倉敷ケーブルテレビ, 「KCTニュース」, 「11月3日は自然史博物館まつり」.

(2) 武智泰史: 地学担当 (8件)

4月19日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「4~5月の催し物について」

6月21日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「7月の催し物について」

7月19日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「第28回特別展 地球の元素について」

9月放送 玉島テレビ, 「第28回特別展 地球の元素について」.

1月5日発行 読売新聞 (日曜版よみほつと), 「ニッポン探景 ニコニコ岩 和むボルダリングの聖地」.

1月放送 玉島テレビ, 「特別陳列 草地功地学標本コレクション展その2について」.

3月20日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「岡山県の化石について」

3月放送 玉島テレビ, 「特別陳列 新着資料展2020について」.

(3) 狩山俊悟: 植物担当 (4件)

5月12日発行 山陽新聞 (さん太タイムズ), 「やってみよう! タンポポ調査, 岡山県の特徴-南部は黄色, 北西部は白」.

8月16日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「特別展示『これも竹! それも竹!』とミニ展示『特殊岩石地帯の植物』」.

12月14日発行 山陽新聞, 「丁寧さ, 独創性に驚き, 小中高生の44点, 自然史博物館『しぜんしくらしき賞』

作品展」.

12月20日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「2019年の山行を振り返って」.

(4) 奥島雄一: 昆虫担当 (21件)

4月10日発行 山陽新聞 (おかくらプラス), 「県内未確認の虫次々, 倉敷の末長さん発見, 甲虫類10種以上, 生息地図を更新」.

4月20日以降放映 たまテレ, 「新着資料展—黒田祐一コレクション」, 「GWスペシャル—お宝探検ツアー」.

5月17日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「皇后さまは虫好き」.

6月14日以降放映 キビテレビ, 「赤いバッタ」.

6月20日発行 読売新聞 (備後), 「ヒラズゲンセイ」.

6月22日発行 中国新聞, 「赤いクワガタ? 福山に珍甲虫」.

6月22日発行 山陽新聞 (おかくらプラス), まちなび, 「昆虫の採集方法と標本の作り方」.

6月26日発行 中国新聞, 「ヒラズゲンセイの群れ発見」.

7月5日発行 山陽新聞 (おかくらプラス), 「“幻の科学雑誌”確認, 戦前・戦中に第一岡山中生刊行, 黒田さん (岡山) 遺族寄贈品から全9号, 県内絶滅昆虫報告も」.

7月9日以降放送 三原テレビ放送, 「ヒラズゲンセイ」(三原市で発見).

7月20日放送 山陽放送ラジオ, 「国司と武田の土曜番長」, 「ゲスト番長」(昆虫トーク, クイズ).

8月29日発行 神戸新聞, 「希少種もしっかり昆虫標本, 半世紀の集大成1万匹が倉敷へ」.

9月20日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「鳴く虫サロン」.

10月17日発行 山陽新聞 (倉敷・総社圏版), 「来月3日、自然史博物館まつり」, 「標本観察や発掘体験しよう」, 「昆虫きもだめし」も」.

11月20日発行 山陽新聞 (社会), 「備前にシタバニハゴロモ, 外来種, 岡山大・水井さん発見, 中国地方で初確認」.

11月21日発行 読売新聞 (岡山), 「「シタバニハゴロモ」農作物の被害注視, 外来種昆虫, 備前で発見」.

12月14日発行 山陽新聞 (おかくらプラス), 「自然史博物館「しぜんしくらしき賞」作品展, 丁寧さ、独創性に驚き, 18日まで小中高生の44点, 標本金井さん (倉敷西中) 写真山川さん (岡山・京山中) 優秀賞」.

1月19日発行 朝日新聞 (岡山), 「チョウ標本心こもる1300点/採取者の遺族、倉敷の博物館に寄贈/昭和20~30年代の希少種も」.

1月23日発行 朝日新聞 (夕刊), 「昆虫標本ひと手間でDNA長持ち/簡単な作製法研究者が提案/多様性を守る研究愛好家の協力も期待/博物館など将来見据え導入」.

1月24日放送, エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「昆虫お宝箱発見」.

3月28日発行 山陽新聞(おかくらプラス), 「あふれる「昆虫愛」、探求心/「セミの寿命1週間は俗説」調査の植松さん/笠岡高卒業高知大進学新フィールド期待」.

(5) 江田伸司:動物担当(3件)

10月18日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「マガンについて」.

11月15日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「トキについて」.

2月21日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(マウマンの小部屋)「マガンの観察会について」.

21 学校用標本の貸出

化石標本セット 1件

小学校用昆虫標本 1件

22 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 876名(456組)(※令和2年3月31日現在)
個人278名, 家族598名(171組), 賛助7組

(2) 役員(*は幹事兼務)

[会長] 吉岡勉.

[副会長] 榊原久美子, 溝手啓子, 山崎法子, 片岡博行, 天本隆士, 古谷太一, 中田太海, 安原信一郎, 小野行弘, 狩山俊悟, 高嶋幸慶.

[評議員] 青野孝昭, 安達由莉*, 天本隆士, 泉川拓子*, 磯野裕昭*, 磯野倫広*, 伊藤邦夫, 稲神邦代*, 入江和喜*, 植松志帆*, 植松蒼*, 江田伸司*, 榎本敬*, 大島宏美*, 岡本泰典*, 奥島雄一*, 小澤佑二, 小野行弘, 片岡法子*, 片岡博行, 片山久*, 狩山俊悟, 木下延子*, 木村浩子*, 國忠高広*, 古谷太一, 小橋理絵子*, 榊原久美子, 坂本明弘*, 坂本憲治*, 柴田加奈*, 島岡浩恵*, 白神加奈子*, 末長晴輝*, 裾分由美子*, 高嶋幸慶, 武田寛生*, 武田雅生*, 武智泰史*, 中田太海, 中塚栄一*, 中村雅江*, 野島淑子*, 橋本恵子*, 橋本響*, 橋本真由子*, 原田愛*, 廣瀬正明, 藤野睦子*, 松村真佐子*, 溝手啓子, 森下裕子*, 安原信一郎, 山崎法子, 雪江祥貴*, 吉岡勉.

[会計監査] 東伸彦, 守安敦.

(3) 自然観察会(*は博物館と共催, カッコ内は中学生以下)友の会追加分のみ計247(18)名.

4月7日 第575回自然観察会「岡山県のタンポポ調査」*高梁市松原町, 23(2)名

4月13日 第576回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年春」*倉敷市寿町, 75(30)名

4月28日 第577回自然観察会「春の海岸植物を見よう」倉敷市玉島沙美, 56(6)名

5月18日 第578回自然観察会「倉敷美観地区で淡水魚を観察しようー初夏編ー」*倉敷市中央, 25(8)名

5月19日 第579回自然観察会「スゲ観察会」総社市延原, 24(0)名

5月26日 第580回自然観察会「おかやま自然探訪61」*真庭市余野下, 24(5)名

6月1日 第581回自然観察会「中国山地の植物観察3~岡山県立森林公園~」*苫田郡鏡野町上斎原, 33(2)名

6月15日 第582回自然観察会「干潟の生き物しらべ」倉敷市玉島黒崎, 中止

6月16日 第583回自然観察会「おかやま自然探訪62」*美作市巨勢, 32(4)名

6月29日 第584回自然観察会「ブッポウソウ観察会in鳥取」*鳥取県南部町, 25(2)名

6月30日 第585回自然観察会「第24回シダの世界」井原市美星町, 10(1)名

7月13日 第586回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会 in 岡山」*岡山県吉備中央町, 25(2)名

7月14日 第587回自然観察会「夏だ!昆虫採集」*倉敷市児島小川町, 131(65)名

7月27・28日 第588回宿泊観察会「神郷の自然」新見市神郷, 16(0)名

8月10日 第589回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年夏&セミのぬけがら調査」*倉敷市寿町, 105(56)名

9月15日 第590回自然観察会「ミズアオイ観察会」*倉敷市加須山, 61(18)名

9月22日 第591回自然観察会「コウノトリの郷へ」兵庫県豊岡市, 28(1)名

9月28日 第592回自然観察会「倉敷美観地区で淡水魚を観察しようー秋編ー」*倉敷市中央, 26(7)名

10月6日 第593回自然観察会「津黒のきのご観察会」真庭市蒜山, 22(4)名

10月27日 第594回自然観察会「河原での岩石の観察」*岡山市北区御津矢原, 38(11)名

11月9日 第595回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年秋」*倉敷市寿町, 72(17)名

11月10日 第596回自然観察会「おかやま自然探訪63」*津山市阿波, 18(5)名

12月8日 第597回自然観察会「おかやま自然探訪64」*瀬戸内市長船町, 14(2)名

1月19日 第598回自然観察会「釜島の自然」倉敷市下津井, 30(3)名

1月25・26日 第599回宿泊観察会「マガンのサンセットフライト・モーニングフライトを見よう」島根県松江市, 23(0)名

2月2日 第600回自然観察会「コケ観察会」岡山市北区岡山後楽園, 38(3)名

2月8日 第601回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年冬」*倉敷市寿町, 61(20)名

3月8日 第602回自然観察会「倉敷の鳥カワセミを探

そう！」倉敷市酒津，中止

3月29日 第603回自然観察会「ミズアオイの種まき会」* 倉敷市加須山，中止

(4) 特別展（博物館と共催）

7月20日～10月14日 第28回特別展「地球の元素」

(5) 特別陳列（博物館と共催）

11月9日～12月18日「第27回しぜんしくらしき賞作品展」



特別陳列【第27回「しぜんしくらしき賞」作品展】

(6) 博物館講座（博物館と共催）

5月3日 「佐藤清明と牧野富太郎・柳田國男・南方熊楠」75名

6月30日 「昆虫の採集方法と標本の作り方」57名

7月15日 「植物の採集方法と標本の作り方」12名

1月5日「学芸員研究紹介ー地学ー：地球における各種元素の存在について」18名

2月22日「学芸員研究紹介ー植物ー：タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のセンリョウ科」22(1)名

3月14日「学芸員研究紹介ー動物ー」（延期・開催日未定）

3月22日「むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究発表会」（延期・開催日未定）

(7) 自然の標本なんでも相談会（博物館と共催）

8月17日 95名.

(8) むしむし探検隊（博物館と共催）

参加者延べ162名.

(9) 自然素材を使った手作り教室

毎月第2日曜日 学習コーナー（博物館と共催）延べ381名.

12月15日 お飾り作り 講義室 62名.

(10) 自然と標本のGWスペシャル（博物館と共催）

(11) グループ活動

溜川ウォッチンググループ：毎週金曜日（共催：第3金曜日のみ倉敷市環境学習センター）3月中止 延べ453名

シダグループ：毎月1回 延べ116名

ご近所バードウォッチンググループ：毎月1回 3月中止 延べ105名

倉敷みらい公園バードウォッチング：毎月1回（共催：倉敷市環境学習センター）3月中止 延べ115名

岡山県植物誌研究会：随時 登録者19名

タンポポ調査グループ：随時 参加者190名

脊椎動物グループ：随時 延べ243名

昆虫グループ（展示+標本整理）：随時 延べ182名

(12) 第27回「しぜんしくらしき賞」（博物館と共催）

募集期間：9月1日～9月29日

審査会：10月17日

表彰式：11月17日

作品展会期：11月9日～12月18日

応募総数：44点

(13) 令和2年度会員証デザインコンテスト

募集期間：10月12日～12月10日

応募総数：36点（応募人数：13名）

審査日：12月14日

採用：「ブッポウソウ」（中塚栄一）

(14) 自然史博物館まつり（博物館と共催）

11月3日.

(15) 会報「しぜんしくらしき」発行

6月1日 109号，9月1日 110号，12月1日 111号，3月1日 112号.

(16) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行

4月13日 328号，5月11日 329号，6月8日 330号，7月13日 331号，8月10日 332号，9月14日 333号，10月12日 334号，11月9日 335号，12月14日 336号，1月11日 337号，2月8日 338号，3月14日 339号.

(17) 総会の開催

4月28日.

(18) 幹事会の開催

4月13日，5月11日，6月8日，7月13日，8月10日，9月14日，10月12日，11月9日，12月14日，1月11日，2月8日，3月14日（メール会議）.

(19) あっせん

図書、自然観察用品、昆虫器具等.

ホームページ、メーリングリスト、Facebookの管理、運営.

(20) その他

V. 庶務

1 沿革

昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会(13名)設置

昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より、倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで、積極的に取り組む必要がある」との答申が出される

昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会(13名)設置

昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが、倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定

昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者(4名)に委託

昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定

昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定

昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館

平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足

平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成

平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館

平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成

平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成

平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成

平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成

平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し、倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

2 各室現有面積(単位:㎡) 現有面積合計 3,263.08

(1) 展示室 (969.48)	
エントランスホール	118.16
常設展示室(第1展示室)	200.09
常設展示室(第2展示室)	256.83
常設展示室(第3展示室)	169.28
常設展示室(第4展示室)	155.16
特別展示室	69.96
(2) 調査研究 (184.24)	
研究室	115.48
工作室	45.56
写真室	11.85
暗室	11.35

(3) 収蔵庫 (488.87)	
第1収蔵庫(動物,植物)	169.83
第2収蔵庫(地学)	62.25
液浸標本収蔵庫	18.69
図書文献室	47.30
大高仮収蔵庫(敷地面積708.10)	190.80
仮収蔵スペース(市内小学校教室2部屋,市内中学校教室2部屋)	
(4) 教育普及 (157.98)	
学習コーナー	47.71
ミニ水族館	14.37
講義室	95.90
(5) 庶務 (182.11)	
連絡室	35.88
事務室	57.59
会議室	55.45
倉庫	33.19
(6) 機械設備 (281.59)	
機械室(地階)	180.86
機械室(収蔵庫用空調設備)	19.86
機械室(屋階)	53.66
ボイラー室	20.25
エレベーター機械室	6.96
(7) その他 (998.81)	
車庫	206.92
便所,廊下等	791.89

3 組織

(1) 職員(平成31年4月1日現在)	
館長 高嶋幸慶(総括)	
主幹・学芸員 江田伸司(動物)	
主幹・学芸員 奥島雄一(昆虫)	
主任・学芸員 武智泰史(地学)	
学芸員 狩山俊悟(植物)	
副主任 石井陽子(庶務,経理,教育普及)	
嘱託 神田佐奈恵(昆虫学芸補助)	
嘱託 辻 弘美(植物学芸補助)	
嘱託 小田敦子(受付,教育普及,庶務)	

嘱託 鈴木佳織（受付，教育普及，広報）
 嘱託 赤星 浩（受付，文献登録）
 臨時 守屋千晴（受付，土日祝）
 臨時 武内飛鳥（受付，土日祝）
 臨時 三島あゆみ（受付，土日祝）
 臨時 田村優希（植物学芸補助，土日）
 臨時 松本光平（昆虫学芸補助，土日）

(2) 職員の異動

9月30日退任 嘱託 鈴木佳織
 11月1日着任 嘱託 泉川拓子
 3月31日退任 嘱託 辻 弘美
 3月31日退任 臨時 田村優希

(3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員（令和2年3月31日現在）

[任期：令和元年12月1日～令和3年11月30日]

荒木 健 倉敷市立連島南中学校長
 碓 京子 高梁市成羽美術館学芸員
 片岡博行 医療法人創和会 重井薬用植物園長
 小林祥一 岡山理科大学教授
 高木盛雄 倉敷市立赤崎小学校長
 田口明子 倉敷市議会文教委員会委員
 堀江明香 元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師
 三宅誠治 日本鱗翅学会会員
 山崎法子 倉敷市立自然史博物館友の会副会長
 吉岡 勉 倉敷市立自然史博物館友の会会長

（敬称略，五十音順）

(4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催 8月1日。

4 委員，役員委嘱

(1) 高嶋幸慶：館長

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成31年4月1日～令和2年3月31日 「倉敷市環境審議会委員」 倉敷市。

令和元年5月21日～令和2年7月8日 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県。

(2) 武智泰史：地学担当

平成30年4月21日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成30年4月21日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成30年2月5日～令和4年2月 「標本救済ネットワークスワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

(3) 狩山俊悟：植物担当

平成30年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県環境文化庁自然環境課。

平成30年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会植物部会副会長」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成31年4月1日～令和3年3月31日 「備前市歴史文化基本構想策定委員」 備前市教育委員会。

平成31年4月1日～令和3年3月31日 「備前市文化財保護審議会委員」 備前市教育委員会。

令和元年7月16日～令和3年7月15日 「岡山県指定希少野生動植物保護巡視員（ミズアオイ）」 岡山県環境文化庁自然環境課。

令和元年10月9日～令和5年3月31日 「瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内部会委員」 中国四国地方環境事務所。

平成30年2月10日～令和4年2月 「西日本自然史系博物館ネットワーク理事」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

平成30年2月5日～令和4年2月 「標本救済ネットワークスワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

令和2年3月3日～令和2年3月6日 「非常勤講師（森林資源学）」 福山市立大学。

(4) 奥島雄一：昆虫担当

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成31年1月1日～令和2年12月31日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会。

平成31年1月1日～令和2年12月31日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会。

平成30年4月1日～令和2年3月31日 「中国地方昆虫学会岡山県委員」 中国地方昆虫学会。

平成28年5月14日～令和3年4月 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会。

平成30年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（昆虫部会副会長）」 岡山県野生生物調査検討会。

平成29年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課.

平成30年8月1日～令和2年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課.

平成30年2月5日～令和4年2月 「標本救済ネットワークスワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

平成29年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人 岡山県環境保全事業団.

令和2年1月1日～令和3年12月31日 「倉敷市生物多様性審議会委員」 倉敷市.

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会.

継続 「日本昆虫目録コムツキグループ調整担当」 日本昆虫目録編集委員会.

(5) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部.

継続 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県野生生物調査検討会.

平成30年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（動物部会長）」 岡山県野生生物調査検討会.

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

平成30年6月24日～令和2年6月 「佐藤清明資料保存会顧問」 佐藤清明資料保存会.

5 会議等派遣

(1) 高嶋幸慶：館長（3回）

5月21日 「岡山県博物館協議会役員会」 岡山県.

7月2日 「第1回倉敷市環境審議会」 倉敷市.

7月11日 「第1回生物多様性審議会」 倉敷市.

(2) 狩山俊悟：植物担当（13回）

6月11日 「令和元年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会（第1回）」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

6月14日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2019年度第1回理事会」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

7月7日 「『タンポポ調査・西日本2020』調査サンプル検討会 兼 第2回スタッフ会議」 タンポポ調査・

西日本実行委員会.

7月10日 「令和元年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会（第2回）」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

7月30日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第1回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

8月2日 「令和元年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会（第3回）」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

8月22日 「岡山県指定希少野生動植物保護巡視員（ミズアオイ）委嘱式」 岡山県環境文化部自然環境課.

12月4日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2019年度第2回理事会」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

12月9日 「令和元年度第1回瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内内部会」 中国四国地方環境事務所.

1月21日 「令和元年度第2回備前市文化財保護審議会」 備前市教育委員会.

2月10日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2020年総会」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

2月13日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第2回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

2月21日 「瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内内部会有識者ヒアリング」 中国四国地方環境事務所.

(3) 奥島雄一：昆虫担当（9回）

4月18日 「平成31年度第1回岡山県環境影響評価技術審査委員会」 岡山県環境影響評価技術審査委員会.

6月5日 「令和元年度岡山県野生動植物調査検討会昆虫部会（第1回）」 岡山県野生動植物調査検討会.

7月22日 「令和元年度第1回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団.

7月24日 「令和元年度岡山県野生動植物調査検討会昆虫部会（第2回）」 岡山県野生動植物調査検討会.

7月30日 「岡山県野生動植物調査検討会第1回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

1月15日 「令和元年度第2回倉敷市生物多様性審議会」 倉敷市環境政策課.

2月5日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第4回昆虫部会」 岡山県野生動植物調査検討会.

2月12日 「令和元年度第2回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団.

2月13日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第2回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

(4) 江田伸司：動物担当（5回）

6月4日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第1回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

7月30日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第1回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

10月30日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第2回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

1月29日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第3回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

2月13日 「岡山県野生動植物調査検討会令和元年度第2回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「毎月のお知らせ」「パワフルキッズ」「友の会ニュース」「FMくらしき」等でPRを行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。

メールマガジン登録者数（LINE配信含む）：756名
（令和2年3月31日現在）。

メールマガジン配信数：13回。

Twitter投稿数：219回。

Instagram投稿数：41回。

7 職員の研修参加

8月23日 「職場活性化のためのチームワーク向上研修」, 奥島雄一参加, 岡山県市町村振興協会研修センター。

9月13~16日 日本鳥学会2019年度大会（帝京科学大学）, 江田伸司参加, 日本鳥学会。

10月2日~4日 令和元年度博物館長研修（国立教育政策研究所）, 高嶋幸慶参加, 文部科学省。

11月30日~12月1日 「日本甲虫学会第10回大会」, 奥島雄一参加, 日本甲虫学会。

8 視察来館

なし

9 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ558名

高梁川流域パスポート利用者数 延べ318名

(2) 一般対象

5月5日 こどもの日 441名

11月3日 11月3日は自然史博物館まつり

5,701名

3月14日 ないと・みゅーじあむ 中止

10 予算・決算（単位：円）

【歳入】

科目名称	予算現額	決算額
観覧料	1,084,000	976,820
内、特別展	457,000	404,280
内、常設展	627,000	572,540
書籍売払雑入	350,000	180,289
施設使用料	0	6,490
観光休憩所水道料	160,000	146,555
拾得金返還雑入	0	0
諸証明手数料	0	0
労働保険料精算雑入	0	0
講師等派遣雑入	0	68,000
合計	1,594,000	1,378,154

【歳出】

科目名称	予算現額	決算額
報酬	8,172,832	7,982,148
内、協議会委員報酬	71,000	49,700
内、非常勤職員等報酬	8,101,832	7,932,448
給料	24,806,000	24,789,000
職員手当等	12,838,000	12,549,792
共済費	9,365,000	9,322,288
内、報酬分	1,321,000	1,300,892
内、職員分	8,044,000	8,021,396
賃金	88,208	87,168
報償費	163,210	163,210
旅費	54,850	54,190
需用費	10,518,084	10,516,838
内、消耗品費	1,670,235	1,669,087
内、食糧費	13,578	13,578
内、印刷製本費	1,905,734	1,905,734
内、光熱水費	6,350,327	6,350,327
内、修繕料	570,798	570,798
内、飼料費	4,000	3,902
内、医薬材料費	3,412	3,412
役務費	420,076	415,608
内、通信運搬費	254,686	250,218
内、手数料	165,390	165,390
委託料	2,470,570	2,470,570
使用料及び賃借料	205,314	205,224
備品購入費	521,856	521,856
負担金補助及び交付金	56,000	56,000
合計	69,680,000	69,133,892

※その他の施設管理費（委託料；中央図書館支払分）

16,024（千円）

11 年間利用者数

(1) 令和元年度利用者数 (単位：人)

月	開館日数	有料				有料入館者合計	無料														無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引			個人					団体													
		一般	大学生	一般	大学生		高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園	小学生	中学生	支援学校	高校生	その他	特別観覧	乳幼児						
4	26	503	29	1	44	577	140	33	263	32	70	37	0	0	0	0	0	46	33	198	852	1072	2501	209	2710
5	21	475	20	0	0	495	207	35	370	65	139	27	183	0	0	0	6	489	282	1803	1147	3445	168	3613	
6	26	405	17	6	68	496	156	38	153	17	32	196	160	0	4	0	4	48	187	995	1340	2831	162	2993	
7	25	708	34	3	0	745	115	38	398	70	141	103	149	5	37	11	5	74	306	1452	1181	3378	306	3684	
8	27	1288	64	17	4	1373	184	72	922	140	172	3	0	0	0	0	90	88	516	2187	1516	5076	287	5363	
9	25	693	71	0	0	764	199	41	287	22	44	248	365	0	0	0	0	79	279	1564	1323	3651	145	3796	
10	27	441	49	4	71	565	141	26	729	26	38	262	1180	0	11	0	0	276	204	2893	1209	4667	177	4844	
11	26	322	30	1	0	353	324	16	1810	210	66	29	218	13	0	0	6	57	1168	3917	3652	7922	90	8012	
12	23	253	14	0	45	312	103	6	112	12	16	127	15	0	0	65	25	60	90	631	1004	1947	14	1961	
1	23	371	22	0	0	393	54	23	127	23	23	182	547	41	0	0	0	49	158	1227	919	2539	53	2592	
2	25	561	53	0	0	614	102	25	214	55	31	374	805	166	30	0	0	40	241	2083	1136	3833	99	3932	
3	27	265	39	1	57	362	43	16	111	30	29	0	0	0	0	0	0	44	109	382	879	1623	0	1623	
合計	301	6285	442	33	289	7049	1768	369	5496	702	801	1588	3622	225	82	76	182	1337	3738	19986	16378	43413	1710	45123	

観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
 ・館内利用者 (※1)：講義室での各種講座、学習コーナーでの手作り教室等参加者
 ・来館者合計 (A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者 (※1)
 ・館外利用者 (B)：自然観察会等参加者、出張展示観覧者数

(2) 年間利用者数の推移 (単位：人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳 (単位：人)

月	個人												団体														
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園			小学校			中学校			支援学校			高校			その他		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4	136	127	263	14	18	32	8	62	70	37	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	46
5	112	86	370	15	32	65	10	108	139	19	8	27	120	63	183	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	
6	85	68	153	10	7	17	8	24	32	162	34	266	69	91	160	0	0	0	4	0	4	0	0	0	4	0	4
7	293	105	398	50	20	70	129	12	141	86	17	103	149	0	149	0	5	5	37	0	37	11	0	11	5	0	5
8	511	411	922	77	63	140	142	30	172	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	50	90
9	210	77	287	12	10	22	38	6	44	248	0	248	157	208	365	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	486	158	729	6	10	26	8	26	38	248	14	262	391	789	1180	0	0	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0
11	74	63	1810	5	205	210	0	66	66	29	0	29	46	172	218	0	13	13	0	0	0	0	0	0	6	0	6
12	66	46	112	8	4	12	5	11	16	110	17	127	15	0	15	0	0	0	0	0	0	13	52	65	0	25	25
1	87	40	127	18	5	23	19	4	23	182	0	182	477	70	547	41	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	137	77	214	21	34	55	26	5	31	286	88	374	723	82	805	0	166	166	0	30	30	0	0	0	0	0	0
3	75	36	111	16	14	30	14	15	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2272	1294	5496	252	422	702	407	369	801	1410	178	1588	2147	1475	3622	41	184	225	41	41	82	24	52	76	61	121	182

・その他：児童クラブ、子ども会等

【倉敷市立自然史博物館中期計画の点検(2019～2023年度)】

表の見方: ①目標値は設定することが好ましいもののみ ②すでに目標値に達していると思われる項目は維持を目標とする ③網掛けは累計数値

大項目:使命	中項目	番	評価指標	参考値	現状値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	凡例(累計以外は年度集計)	番	
				2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				
集めて未来につなげる 博物館は、倉敷市とそれ につながる地域の自然 の情報拠点として、人類 共通の財産である標本 文献等の資料を積極的 に収集・保管し、次世代 に引き継ぐことで、過去 から現在そして未来への 懸け橋となります。	資料の収集に努 めているか	1	一次資料収蔵点数	856,261	938,163	973,030						— 受入れ点数の累計	1	
		2	一次資料採集点数	523	367	496						— 業務内採集点数	2	
		3	一次資料寄贈点数	29,837	81,535	58,396						— 寄贈受入点数	3	
		4	一次資料登録点数	471,607	485,955	498,886					560,000	登録済資料点数累計	4	
		5	一次資料データベース入力点数	444,134	457,448	468,863					535,000	上記のうちデータが電子化されている点数	5	
		6	二次資料登録点数(図書)	11,902	12,506	12,875						— 登録・入力済点数累計	6	
		7	二次資料登録点数(雑誌)	34,818	35,946	38,852						— 登録・入力済点数累計	7	
		8	一次資料利用件数	111	213	176						250	来館利用回数+貸出手続き回数、ボランティア除く	8
		9	二次資料利用件数	12	12	49						30	来館利用回数+貸出手続き回数	9
		10	一次資料利用著作件数	27	29	37						40	収蔵資料を引用した著作件数、出版後寄贈含む	10
		11	博物館のお宝探検開催回数	25	46	27						50	単独開催+イベント	11
		12	博物館のお宝探検参加者数	—	—	481						—	単独開催+イベント	12
教養文化の向上をめざ す 博物館は、自然に関す る調査研究を行い、その 成果を展示や教育普及 活動により発信し、学習 機会を提供することで、 人々の自然への興味・ 関心や学習意欲を高 め、教養文化の向上に 寄与します。	調査研究を行っ ているか	13	野外調査回数	70	43	72						— 業務内調査日数	13	
		14	館員著作件数	145	122	131						150	館内刊行物(バオ、研報)+館外刊行物	14
		15	特別展総観覧者数	20,004	10,015	12,622						— 会期中観覧者数	15	
		16	特別展日平均観覧者数	322.6	178.8	148.5						250	総観覧者/会期日数	16
		17	特別展満足度	91	—	92						85%	%、大変満足+満足/5段階評価	17
		18	特別展列開催件数	4	6	10						—	— 年度内開催件数、年度をまたぐものは前年へ	18
		19	常設展・一時展示更新回数	11	10	15						10	— 年度をまたぐものは前年へ	19
		20	館員講演件数	10	8	8						15	館行事(研究紹介、スライド)+館外	20
		21	観察会参加者数	675	680	789						800		21
		22	博物館講座参加者数	184	214	184						250		22
		23	各種教室等参加者数	474	478	309						500	標本相談会、動物研究会、むしむし探検隊、地学教室、スライド映画会	23
		24	出前講座等参加者数	949	1,125	1,572						1,300	出前講座+講師依頼	24
人づくりを担う 博物館は、その活動・事 業を通じて様々な世代 の人々の多様な学習や ボランティア活動を支援 し、自然と人が共生し未 来につながる持続可能な 社会の実現に貢献する 人材を育てます。	ボランティアが活 動できているか	25	自然史博物館まつり参加者数	8,395	8,825	5,701					9,000		25	
		26	自然史博物館まつり満足度	95.1	98.7	95.2						95%	%、大変満足(非常に良い)+満足(良い)/5段階評価	26
		27	自然にふれる活動に参加している子どもの数	594	378	577						700	屋外行事の中学生以下の参加者数:倉敷市教育振興基本計画指標	27
		28	展示メンテナンス延べ人数	56	32	47						40	ミニ水族館	28
		29	展示ガイド回数	37	29	28						40	昆虫ガイド	29
		30	資料作成・整理延べ人数	709	1,327	742						800	脊椎グループ、動物、昆虫、植物	30
		31	次世代の育成ができてい るか	自然史博物館利用者から自然系大学・職業等 に進んだ人数	21	21	24					25	高校生時までに通い、卒業後自然系の大学・職業等に進んだ累積人数	31
		32	実習生等の受入れ ができていますか	職場体験受入れ人数	31	15	21					30	中学生	32
		33	博物館実習・インターン受入れ人数	4	2	4						5	大学生	33
		34	利用者への支 援・情報提供が できていますか	共著著作件数	20	18	20					30	館員と館外者の共著著作件数	34
		35	編集委員(校閲)を務めた出版物 リファレンス件数	21	21	31						30	冊数(館+友の会+館外)、原稿別は下記に含む	35
		36		964	990	976						1,000	上記以外の査読・校閲・研究協力含む	36
連携して共に成長する 博物館は、学校、地域や 博物館友の会等の多様 な主体と連携・協力し て、専門的力量とともに 総合的な力を高め、活 動の充実・発展を図りま す。	収蔵資料の連携 した活用ができて いるか	37	倉敷まちかど博物館申請件数	13	11	17					15		37	
		38	倉敷まちかど博物館貸出回数	41	40	34						50	継続含まず、更新・仮展示含む	38
		39	学校用標本貸出件数	2	1	2						3	地学+昆虫	39
		40	他館等協力展示件数	2	0	5						1	共催・協力	40
		41	友の会が協力した事業が できているか	46	41	42						45	観察会・博物館講座・各種講座・手作り教室・イベント	41
		42	講師派遣行事数	9	6	7						10	共催除く	42
		43	出前講座等講師派遣件数	29	25	36						30	出前講座+その他講師派遣	43
		44	会議派遣件数	29	32	30						—		44
		45	正規職員数	6	6	6						—		45
		46	嘱託職員数	5	5	5						—	博物館採用+人事課採用分、会計年度任用職員数(2020.4～)	46
		47	占有延べ床面積(m ²)	3,263.08	3,263.08	3,263.08						—	本館+大高仮収蔵庫	47
		より魅力的な博物館を めざす 博物館は、人的・物的・ 財政的な基盤を確保し、 適切に管理・運営しま す。さらに、事業の評価・ 改善や広報活動を通じ て、利用者サービスや社 会的価値の向上に努 め、より魅力的な博物館 をめざします。	面積等の状況	48	一時使用床面積(m ²)	189	189	189					—	小学校2教室+中学校1.5教室
49	内収蔵面積(m ²)			677.87	677.87	677.87					—	本館+大高+一時使用	49	
50	歳出総額			90,351,482	84,908,844	85,157,892						—	決算額、職員給与、3館按分経費含む	50
51	歳入			2,191,178	1,639,674	1,378,154						—	決算額、使用料(観覧料等)+雑入、一般財源含まず	51
52	全体利用者数			75,740	49,658	45,123						60,000	来館者+館外利用者	52
53	来館者数			54,720	48,445	43,413						55,000	観覧者+館内利用者	53
54	外国人観覧者数			30	164	183						—	— 受付で確認できた人のみ	54
55	子ども観覧者数			18,213	18,491	15,453						20,000	小中学生(個人+団体)+幼稚園・保育園・認定こども園児+支援学校(児童・生徒)+乳幼児	55
56	学校園等団体利用件数			159	185	179						200		56
57	来館者総合満足度			84	86	86						85%	%、大変満足+満足/5段階評価	57
58	友の会会員数			824	880	876						1,000		58
広報活動が十分に 行き届いている か	マスコミ報道件数			59	マスコミ報道件数	87	76	41					90	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等(イベント案内・寄稿除く)
		60	ホームページアクセス数	—	—	26,156					50,000	Google analyticsによるページビュー数(2019年度は利用開始日(8月19日)からの計測)	60	
		61	メールマガジン登録者数	986	1,074	756						1,500	年度末時点数	61
		62	メールマガジン配信数	35	18	13						—	— 年度内配信数(発行回数)	62
		63	Twitter投稿数	112	158	219						200	— 年度内投稿数(ツイート回数)	63
		64	Twitterフォロワー数	—	110	369						600		64
		65	Instagram投稿数	—	38	41						100	— 年度内投稿数	65
		66	Instagramフォロワー数	—	137	269						300		66
		67	施設・事業が改 善されているか	67	施設改善件数	—	8					10	修繕・修理実施件数(経費不要分含む)	67
		68	運営面の改善件数	—	—	7						10	施設以外の改善件数	68
		69	職員の資質向上 に努めているか	69	研修参加回数	32	17	30				30	人材育成計画実績(義務的の基本研修は除く、学会参加含む)	69
		70	職員への対応に対する満足度	82*	82*	88						85%	%、大変満足+満足/5段階評価(*年間一部)	70

倉敷市立自然史博物館の運営方針

平成30年12月7日

1 理念（コンセプト）

倉敷市立自然史博物館は、郷土倉敷とそれにつながる地域の自然と人との関わりについて、市民の関心や理解を深め、学習を支援することにより、市民の教養と地域文化の向上に寄与します。

2 使命（ミッション）—理念実現に向けて—

倉敷市立自然史博物館（以下「博物館」という。）は、理念の実現に向けて、次に掲げる使命を持って、資料の収集・保管、調査研究、展示及び教育普及活動を推進します。

○集めて未来につなげる

博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。

○教養文化の向上をめざす

博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。

○人づくりを担う

博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながり持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。

○連携して共に成長する

博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。

○より魅力的な博物館をめざす

博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

平成30年12月7日

倉敷市立自然史博物館は、その使命（ミッション）に基づき、資料を収集・保管するものとし、収集対象資料は次のとおりとする。

収集対象は、自然史関連の実物標本、レプリカ、文献、画像、映像等とし、次のいずれかに該当するものとする。

1 地勢的・気候的又は生物地理学的に倉敷市及びそれに関連する地域に関する資料

〔説明〕

地質・地形及び生物相に関するもので、過去から現在、未来へと変遷の検証が可能なものの収集に努める。また、収集地域には学術の見地から、当市と地勢的・気候的に関連した近隣地域（高梁川流域・山陽・瀬戸内など）又は生物地理学的に関連のある地域を含めるものとする。

2 展示を中心とした教育普及又は研究に活用できる資料

〔説明〕

地球の歴史と生命の進化及び生物多様性といった学校教育や社会で重視されている分野の研究・教育普及に活用できる資料の収集に努める。

○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年9月22日
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- (2) 博物館資料を利用させること。
- (3) 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (4) 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- (6) その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。

2 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。

3 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。

2 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

3 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。

2 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。

3 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

4 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

5 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

6 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。

- (1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- (2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)
第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 酔酩して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- (3) 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- (4) 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認められる者
- (5) 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められる者
- (6) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料をき損又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- (5) 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (6) 委員は、再任することができる。

(協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)
1 この条例の施行期日は、規則で定める。
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

展示美術館協議会委員	同 5,000円	同
------------	----------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同 5,000円	同
-------------	----------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)
(施行期日)
1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)
2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)
(施行期日)
1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)
この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)
この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)
(施行期日)
1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)
2 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)
常設展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第5条関係)
特別展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき540円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生		
高校生以下		

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3(第7条関係)
講義室使用料

使用場所/使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から午後12時まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで	
講義室	432円	648円	1,080円	1時間につき756円

備考
1 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。

2 金額には消費税及び地方消費税を含む。

○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当るときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)

(2) 12月28日から翌年の1月4日まで。

2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧券を納付したものに對して観覧券を交付するものとする。

2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。

3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。

(1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。

(2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。

(3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。))は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。))は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。

3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。

(1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。

(2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。

(3) 使用する施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。

(4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。

(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント

(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント

(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント

(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除

(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき心身障害者の場合はその介護人1名を含めて観覧料の全額を免除

(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除

2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。))に会長、副会長を置く。

2 会長、副会長は委員の互選により定める。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

5 会議は会長が招集する。

6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。

7 協議会に専門部会を置くことができる。

8 協議会の庶務は、博物館において行なう。

9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)

この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(一部抜粋)

昭和42年2月1日
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館 協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]

9時～17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、
年末年始(12月28日～1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

一般:150円(100円)

大学生:50円(30円)

高校生以下:無料

・かつこ内は20名以上の団体の場合。

・65歳以上の方、学齡未達の幼児、心身障がい者と
その介護者1名は無料。

[交通案内]

・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。

・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館報 第29号（令和元年度）

令和2年7月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電 話 (086)425-6037

F A X (086)425-6038

E-mail: musnat@city.kurashiki.okayama.jp

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/index.htm>